

未来の国立大学

—京都大学の魅力—





地球社会の調和ある共存に貢献

Harmonious coexistence with the human and ecological community on this planet





- **自学自習の伝統**
- **対話を根幹とした自由の学風**
- **世界の最先端を行く多くの研究**
- **探検とフィールドワーク**
- **多様性と創造を尊ぶ精神**



Kyoto University



1897 創設

学生

23,900

13,400 学部生

9,300 大学院生

2,200 留学生

(As of May 1, 2017)



教育研究組織

10 学部

18 研究科

35 研究所・センター

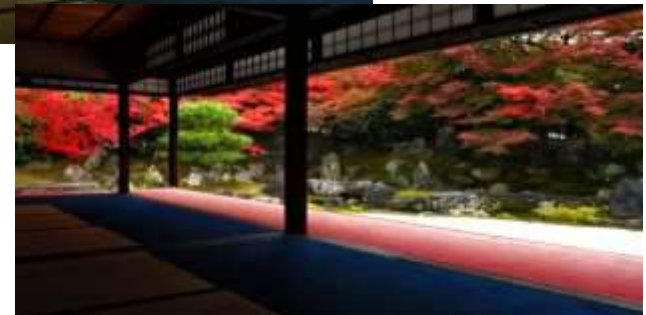
教職員

7,200

400 外国人スタッフ



歴史の都
京都





京都大学の海外展開

海外拠点

60

3 Branch Offices(★)

57 Other Offices & Facilities(●)

パートナー

168交流協定, 114 機関

*University-level



Coming from
Abroad

Kyoto Univ.

Going
Abroad

3,326

Researchers

8,409

2,474

Students

2,915

WINDOW Concept

京都大学は
世界と社会に通じる

窓

W

WILD
and
WISE

W

WOMEN
and
WISH

I

INTERNATIONAL
and
INNOVATIVE

O

ORIGINAL
and
OPTIMISTIC

N

NATURAL
and
NOBLE

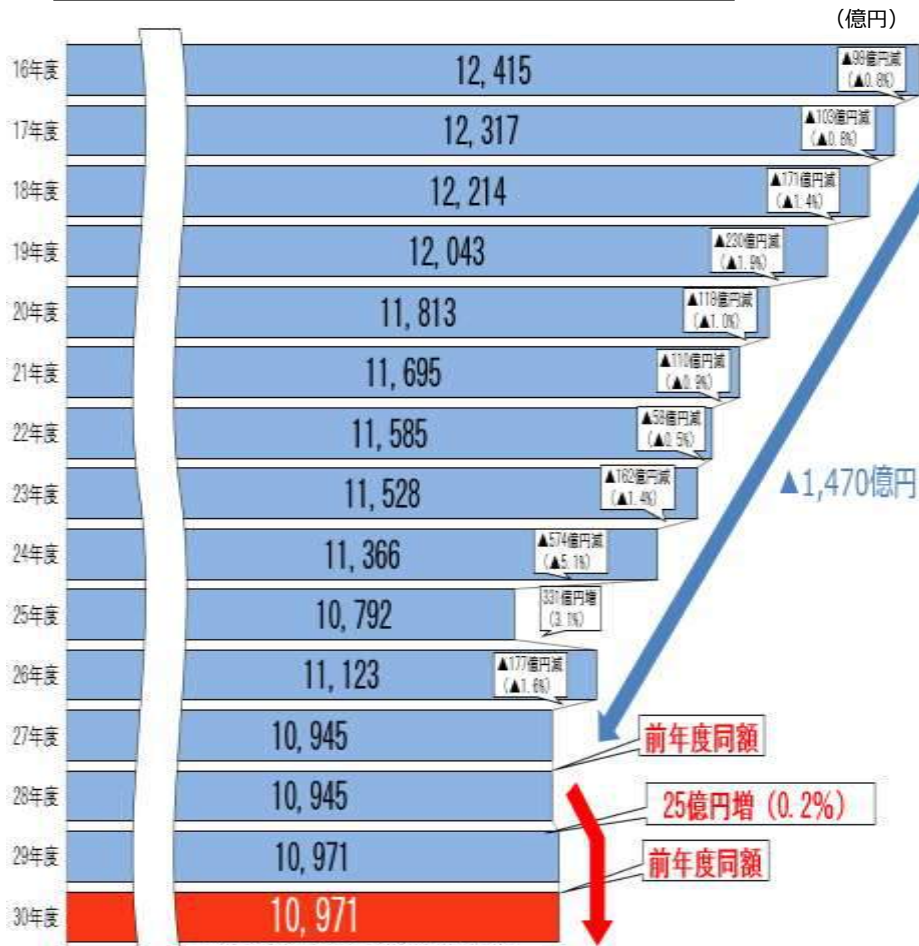
D

DIVERSE
and
DYNAMIC

国立大学法人化の影響

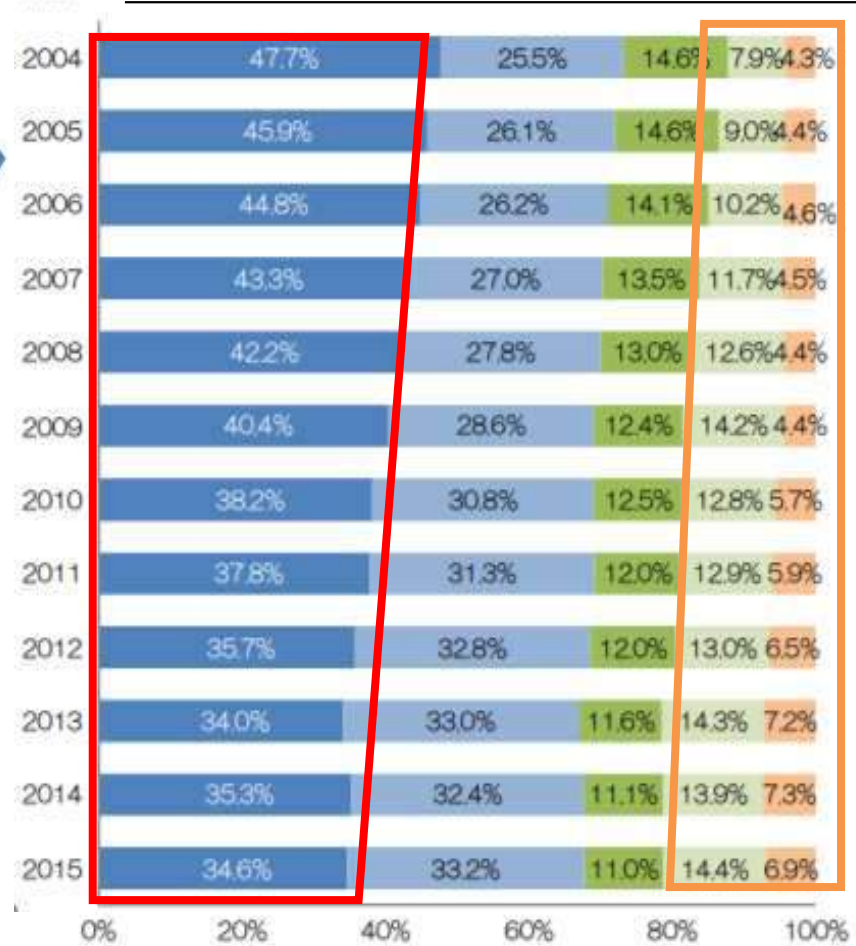
基盤的経費の安定的確保・適切な予算配分バランス

○国立大学法人運営費交付金等の推移



(注) 平成29年度予算額には、国立大学法人機能強化促進費(45億円)を含む。
 (注) 平成30年度予算額には、国立大学法人機能強化促進費(89億円)を含む。
 (出典) 文部科学省資料をもとに国大協事務局作成。

○予算配分バランスの変化(経常収入の内訳)



■運営費交付金収益 ■附属病院収益 ■学生納付金収益 ■競争的資金等(※) ■その他
 (注) 競争的資金等は、補助金等収益受託研究等収益等、寄付金収益、研究関連収益及びその他の自己収入の合計額
 (出典) 文部科学省「国立大学法人等の平成26事業年度決算等について」より国大協事務局作成。

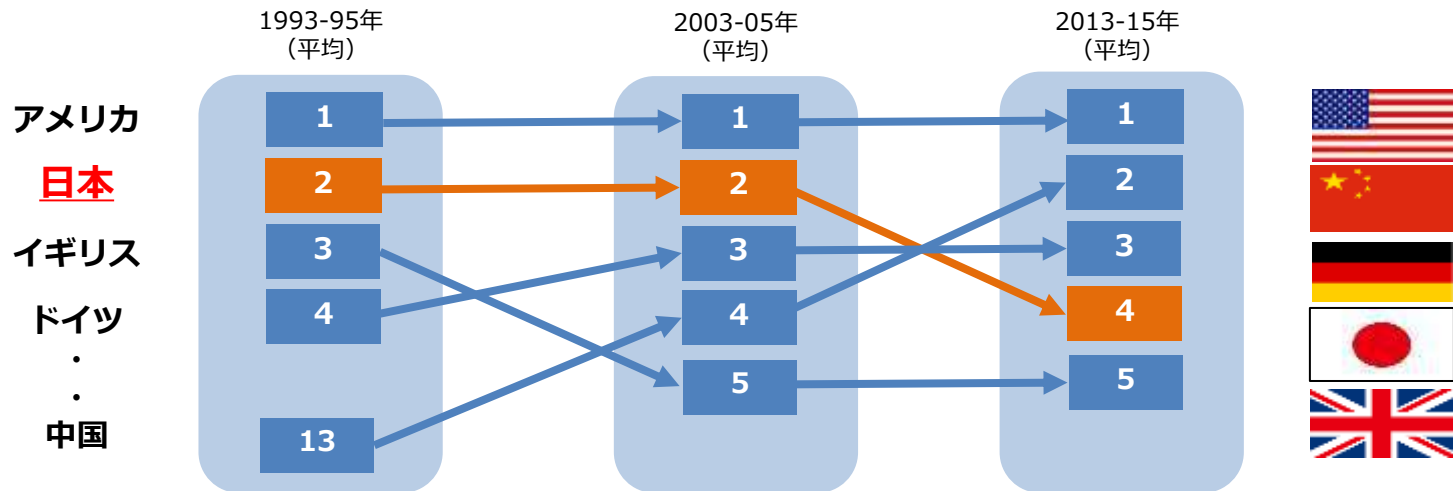
基盤となる運営費交付金の拡充と

適切な競争的資金のデュアルサポートが必要！

論文数ランキングの低下

2000年代前半まで、日本の論文数はアメリカに次ぐ第2位だったが、2013-2015年の平均では 第4位に低下した。

科学論文数の国別順位



(注) 論文数は分数カウント。

(出典) 文部科学省 科学技術・学術研究所「科学技術指標2017」より国大協事務局作成。

※日本の論文数及びTOP10%補正論文数では国立大学が中心であり、国立大学の論文数の低下が我が国の研究力低下につながっている。

全分野	論文数 (3年平均値)			推移
	2003-2005年	2008-2010年	2013-2015年	
日本全体	67,888	64,745	64,013	△3,875
国立大学	34,471	32,223	31,850	△2,621

(出典) 文部科学省 科学技術・学術研究所 調査資料262「科学研究のベンチマーキング2017」より国大協事務局作成。

世界からも懸念される日本の大学の状況

英科学雑誌「ネイチャー」（平成29年3月23日付発行）

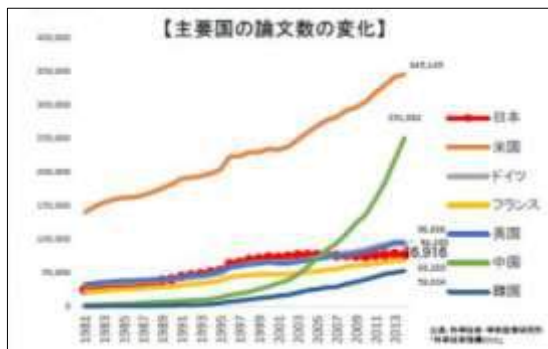
WHAT PRICE WILL SCIENCE PAY FOR AUSTERITY?

Japan's stagnated research output corresponds with a deteriorating situation for young researchers

（「緊縮財政により科学研究はどのような代償を支払うことになるか」～日本の研究力の停滞と若手研究者の待遇の悪化との関連～）

- 「日本の科学技術予算は2001年以降、基本的に横ばいが続いている。一方、ドイツ、韓国や中国といった国々は、科学技術予算を著しく増加させている。」
- 「2000年代初頭から、日本政府は教職員の給与のための大学予算を削り始めた。ここには、2004年から2014年にかけて毎年約1%削減をされた国立大学運営費交付金も含まれている。」
- 「研究者は、学生が研究職としてのキャリアを断念しつつある現状を危惧している。」

「日本の科学技術は転換点にあり、次の10年で成果を出さなければ科学研究でトップの国という地位を失いかねない。」

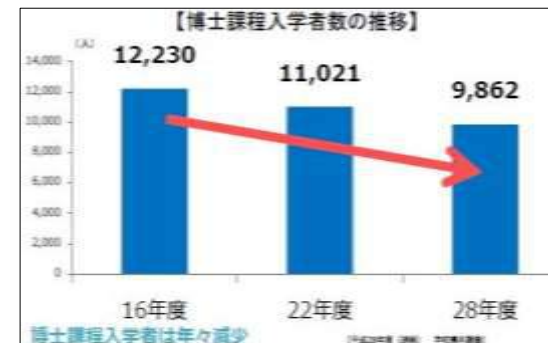


全体の収録論文数のうち日本からの論文数が占める割合は7.4%から4.7%に低下



「日本全国の大学において、任期無しポストを減らし、任期付きポストへの切り替えが進められており、若手研究者は不安的な未来に直面している。」

(出典) 文部科学省資料をもとに国大協事務局作成。



国立大学運営費・科研費・競争的資金と論文数の関係性のマクロ分析

- 国立大学の運営費は1998年から1993年の5年間は平均5%超の高い伸び
- 2001年をピークに減少傾向

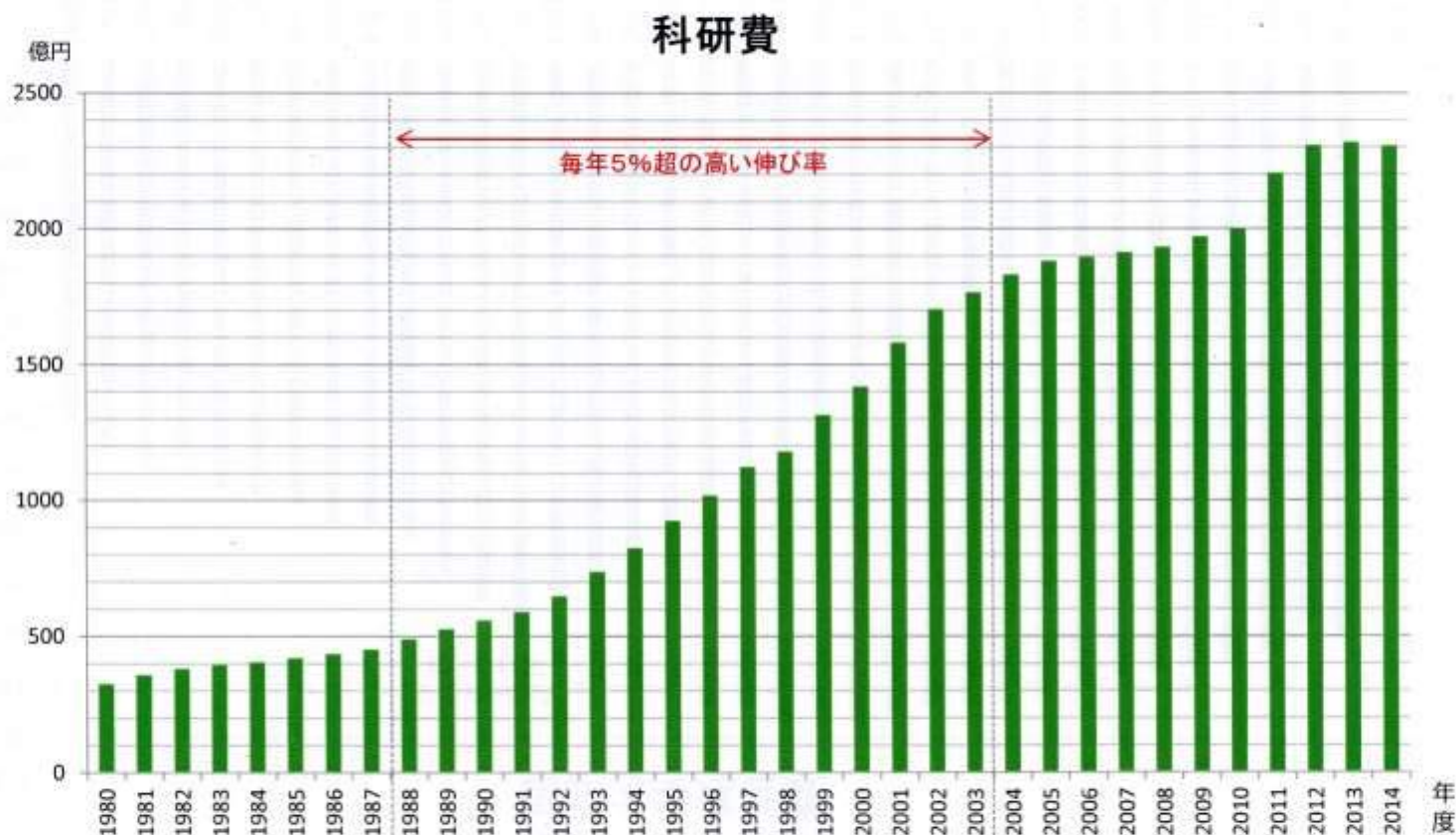


(注) 国立大学運営費の数値

- ・2004年(法人化)以降は国立大学法人運営費交付金
- ・2003年以前は、各年度の国立学校運営費に対して「2004年度国立大学法人運営費交付金／2003年度国立学校運営費」の割合を掛けて算出した数値
(法人化した2004年度の国立大学法人運営費交付金は2003年度予算と実質的に同水準を措置したという政府見解に基づく)
- ・国立大学法人運営費交付金、国立学校運営費はいずれも当初予算額

国立大学運営費・科研費・競争的資金と論文数の関係性のマクロ分析

- 科研費は長期的に大幅に増加
- 1988年から2003年までの間は毎年5%を超える高い伸び

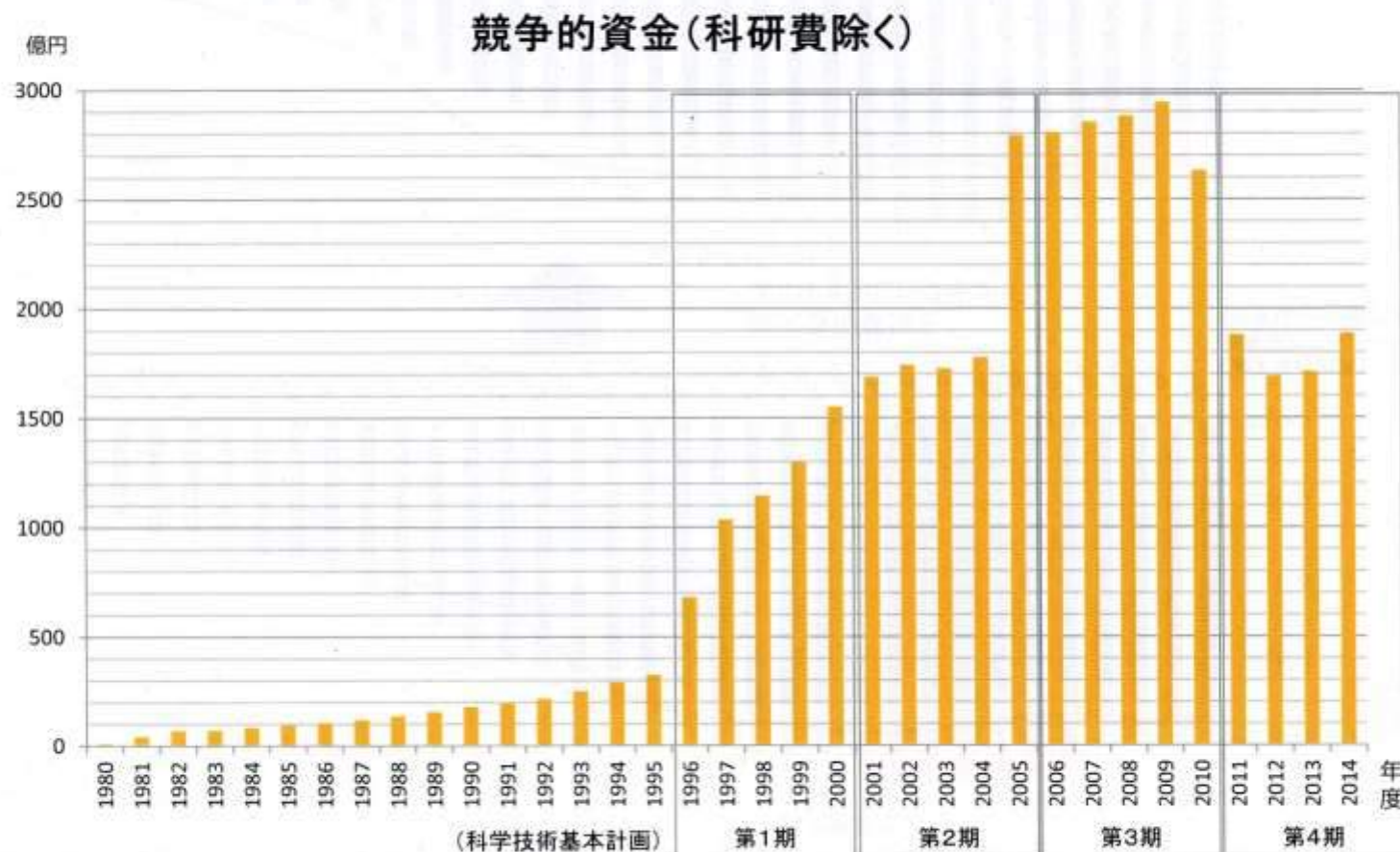


(注)

- ・当初予算額
- ・基金化が導入された2011年度以降は助成額

国立大学運営費・科研費・競争的資金と論文数の関係性のマクロ分析

- 競争的資金(科研費除く)は1996年の科学技術基本計画第1期から大幅に増加
- 2011年の第4期に減少

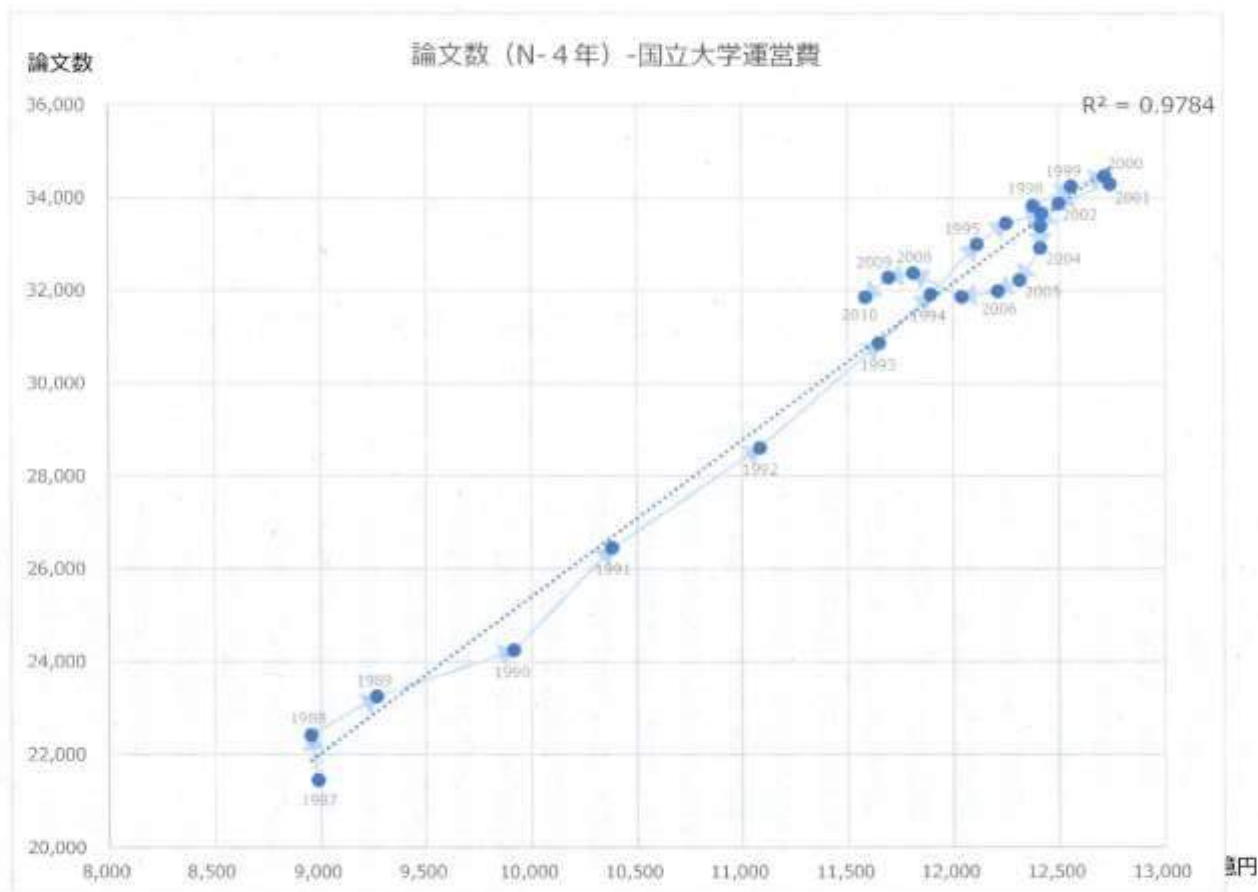


(注)出典

- ・2000年度以降の数值は文部科学省作成資料より
- ・1995年度から1999年度の数值は「平成13年度科学技術白書」より算出
- ・1994年度以前の数值は、文部科学省が科学技術基本計画の1期期間前に創設された競争的資金制度として位置付けていた4つの制度の各年度当初予算額

国立大学運営費・科研費・競争的資金と論文数の関係性のマクロ分析

➤ 資金と論文数の相関分析の結果、国立大学運営費と論文数の間に非常に高い相関が見られた。



(注)

- 一般に統計的に有意とされる範囲は $R^2 > 0.6$
- 科研費の $R^2=0.4834$ 、競争的資金(科研費除く)の $R^2=0.3105$

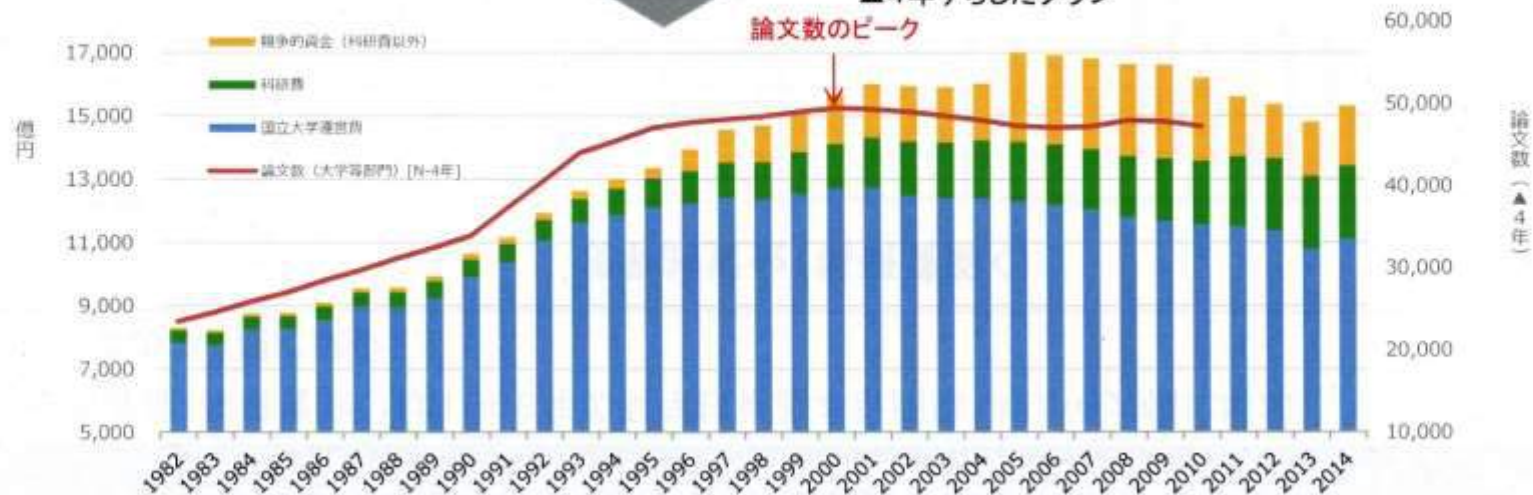
国立大学運営費・科研費・競争的資金と論文数の関係性のマクロ分析

- 論文数のピークは2004年
- 資金と論文数の増減傾向から、4年程度のずれが見られる



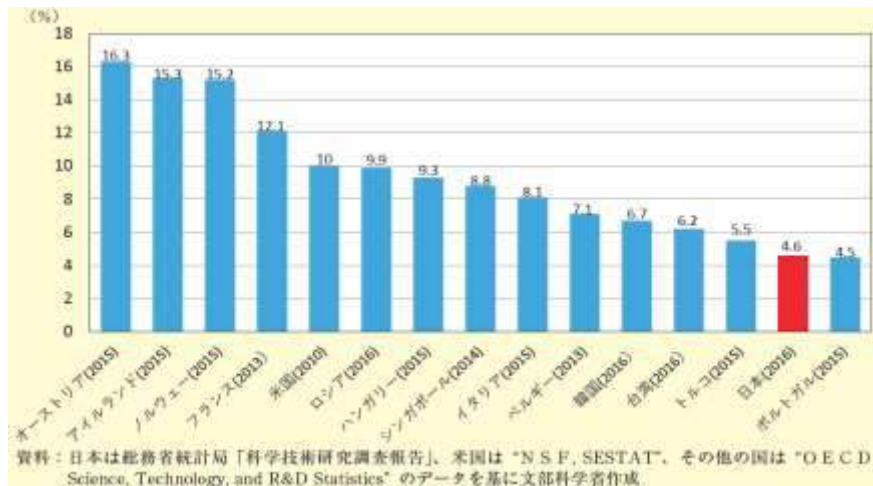
【論文数の出典】
科学研究のベンチマーキング2017
(科学技術・学術政策研究所)

論文数の数値を
▲4年ずらしたグラフ

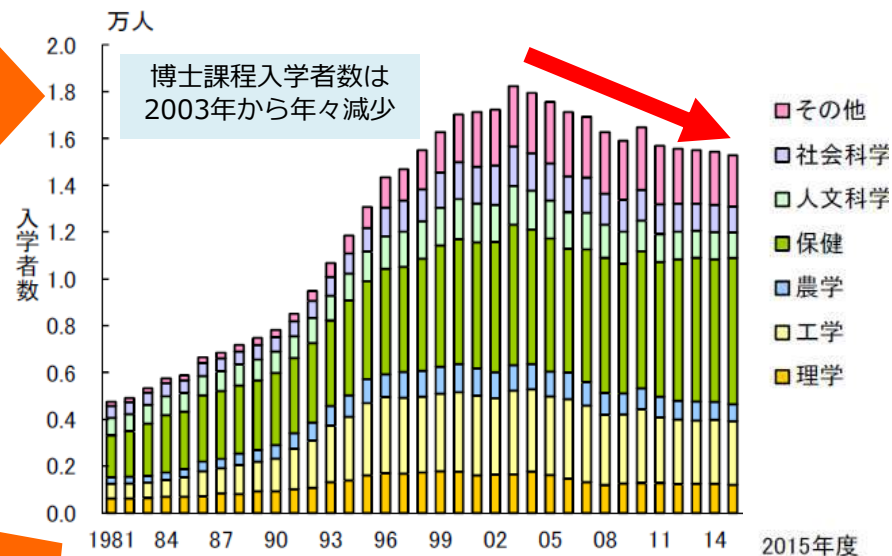


博士号取得者の増加とその活躍の場の拡大

企業研究者に占める博士号取得者の割合



専攻別入学者数の推移（博士課程）



(出典) 文部科学省 科学技術・学術政策研究所「科学技術指標2017」

博士進学を検討する際に進学を考えるための重要な条件



大学におけるポストの減少に加え、企業研究者に占める博士号取得者の割合は4.6%と、**諸外国と比較して低い水準**となっている。

経済的な支援が十分ではなく、また、高度な知識・技術を身に着けたとしても、それを活かせるポストが不足し、安定したキャリアパスが描けないことから、**博士課程の入学者数は年々減少傾向にある。**

これからの高度な知識基盤社会における、幅広い分野の高度な人材の需要に対応するため、**博士号取得者を増やし、その活躍の場を拡大する**必要がある。

国大協の対策提言

2018年8月

我が国の研究力向上のために



：人材



：資金



：時間

基盤経費の安定的確保

競争的資金の幅広い配分

外部資金の拡大

研究支援者の増員

各種評価業務等の簡素化

高等教育における国立大学の将来像

我が国及び世界の高等教育の歴史と現状、高等教育を取り巻く社会構造の変化について確認し、将来の我が国の高等教育全体の在り方を考察し、その中で国立大学に求められる使命を確認して、自らの将来像を提言し、その実現に向けた方策を示す。

国立大学が今後特に果たすべき役割・機能

国立大学は、これまで果たしてきた役割・機能をさらに向上・発展させ、今後以下の役割・機能を重点的に果たしていく。

重点1 高度な教育研究機能の向上

大学院教育の中核、世界トップレベルの研究の先導、企業の成長に寄与する高度専門職業人の育成

重点2 地域の国公立大学の連携の中核拠点としての役割・機能

地方自治体や地域・産業界のリーダー養成、地域の個性・特色を生かしたイノベーション創出、グローバル化に対応した教育研究

重点3 教員、理工系人材、医師などの政策的な人材育成を担う大学の連携・協働の拠点としての機能

重点4 基礎的・伝統的な幅広い学問分野の研究の維持・継承

重点5 海外の大学・研究機関との学術研究交流と開発途上国への支援

国際共同研究、学生・研究者交流、高等教育機関の整備などの「教育外交」、開発途上国に対する技術指導などの「科学技術外交」

実現のステップ

①現在の機能の最大化と将来に向けた計画・準備

- 新たな知の創造と地球規模課題の解決に向けた研究力強化
- 価値創造を継承する優秀な人材を育成するための大学院の充実
- 大学進学率を増加させ、高度知識基盤社会の一層の発展を全国・各地域で支える人材の増加

2021 年度

第3期中期目標期間

第4期中期目標期間

2027 年度

②将来に向けたマネジメント・ガバナンス改革

- これまでできていなかったキャンディデートの発掘
- 社会人学生及び留学生の増加
- 各大学の特色・個性の発揮と連携・協働による教育展開
- 産業界にとって問題が明らかで解決の価値の高い課題解決に資する仕組

京都大学のチャレンジ

- ・柔軟かつダイナミックな体制による知の創造
- ・高度で多様な頭脳循環の形成
- ・新たな社会貢献モデル
- ・世界に伍する京大流大学運営

研究力強化

部局の枠を越えた
柔軟で機動的な連携と組織改革

新時代の課題
地球規模のニーズ

社会の要請

新しい
学術領域の創成

学術
イノベーション

教員組織
(40学系)

教育研究組織
(63部局)

✓ 透明で効果的な教員人事

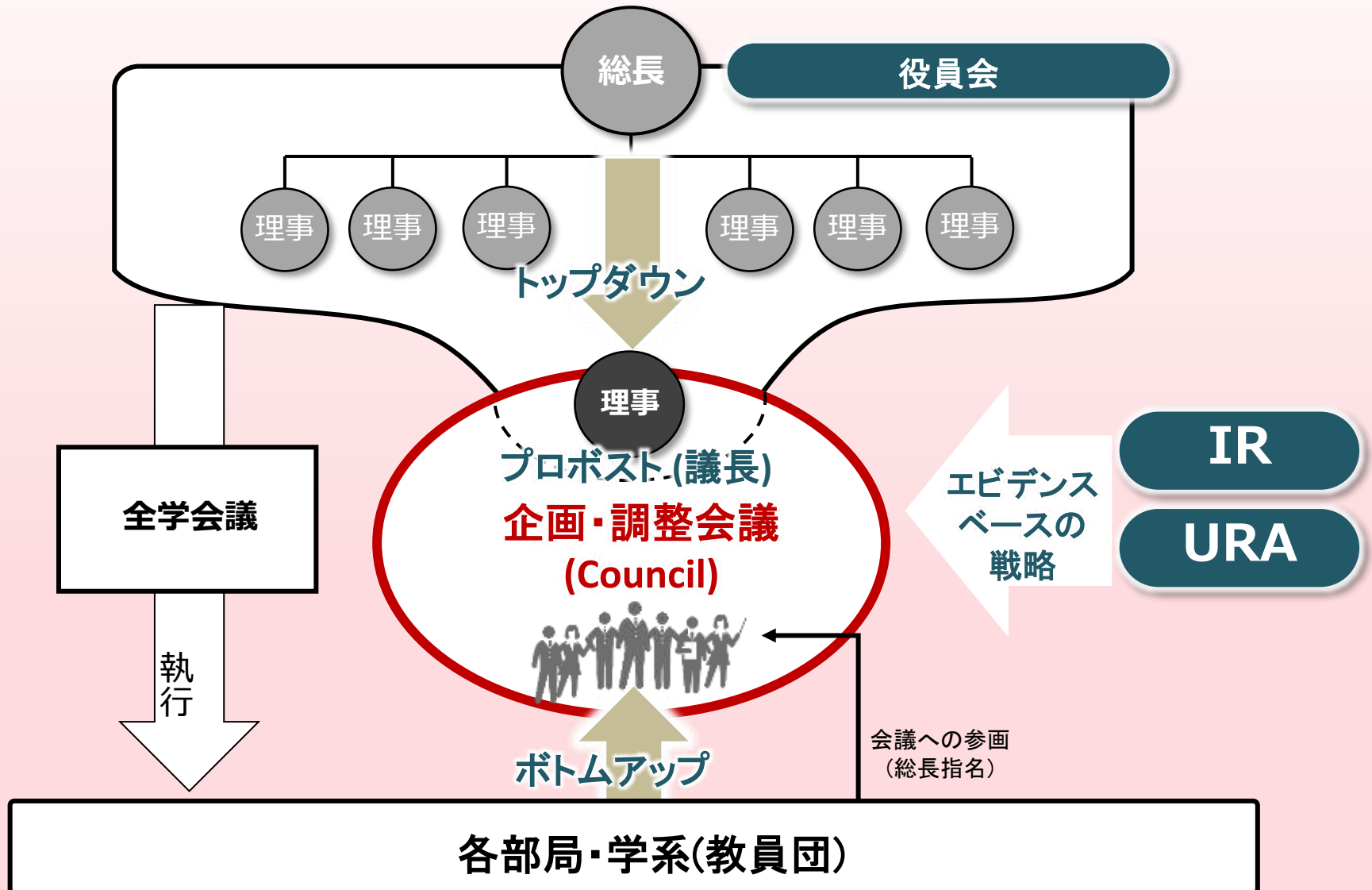
✓ 協働と連携による
教育研究の展開

組織改革

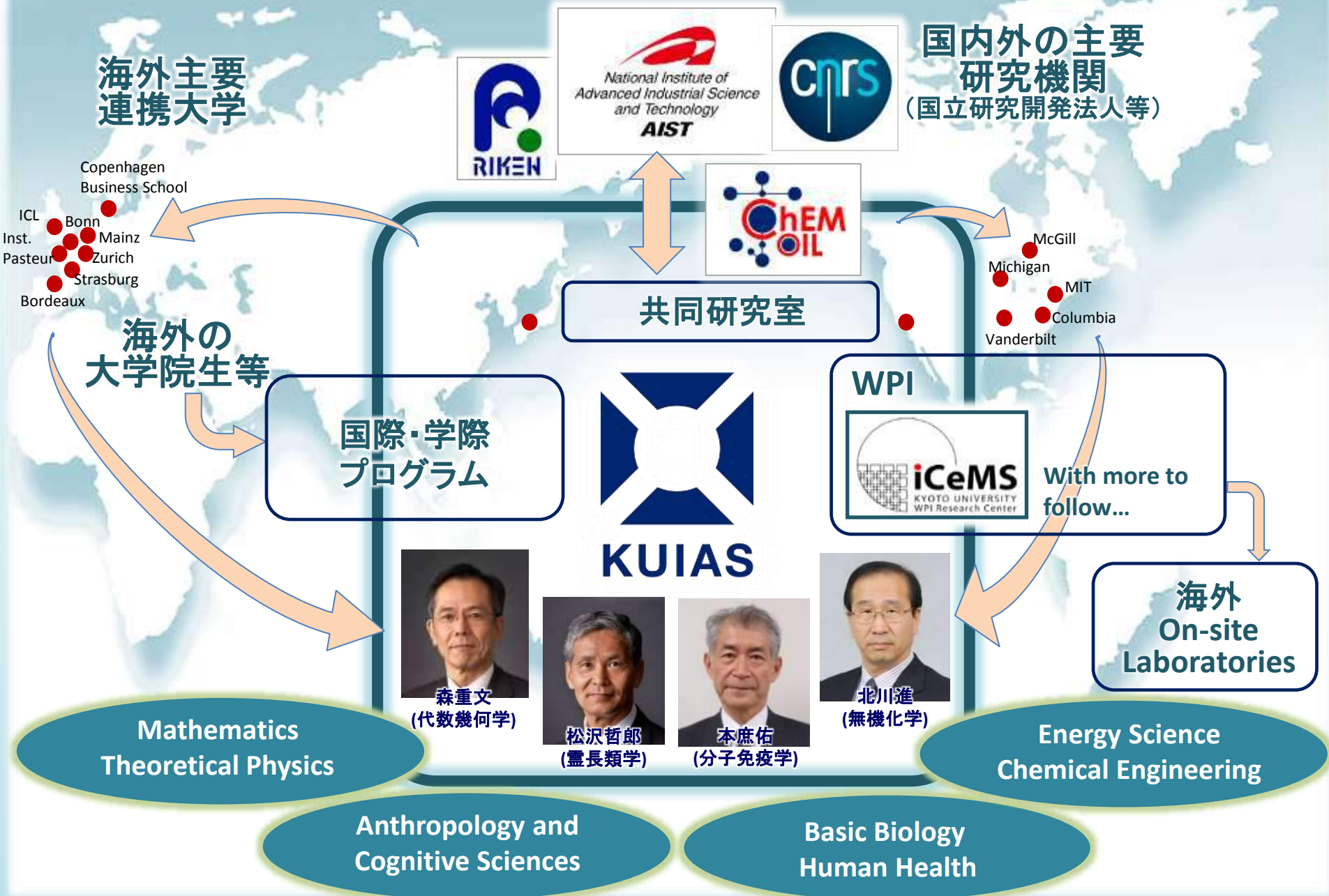
再生医科学研究所
+
ウイルス研究所

ガバナンスの強化

- ✓ トップダウンとボトムアップの調整機能強化による大学経営のスピードアップ
- ✓ 戦略的経営を支える体制を強化



国際学術ハブ (高等研究院 2016~)



世界の先端学術HUBへ

～世界を循環する知と人材の中心たる未来指向型大学～

- ・世界を舞台に国力の源泉となる未来世代を育成
- ・経済界・産業界と人材の相互乗り入れを促進し、新産業創造や技術革新を促進
- ・世界トップ大学等とイコールパートナーとして、先端学術を切り拓く戦略的連携を展開

海外拠点の活発な
展開とReputation向上

世界を舞台に
共同研究を展開

産業界と人材の
相互乗り入れ・育成

卓越研究
人材の輩出

企業の研究開発の
向上に貢献

未来を見据えた
研究プロジェクト

良識ある世界市民
の育成・輩出

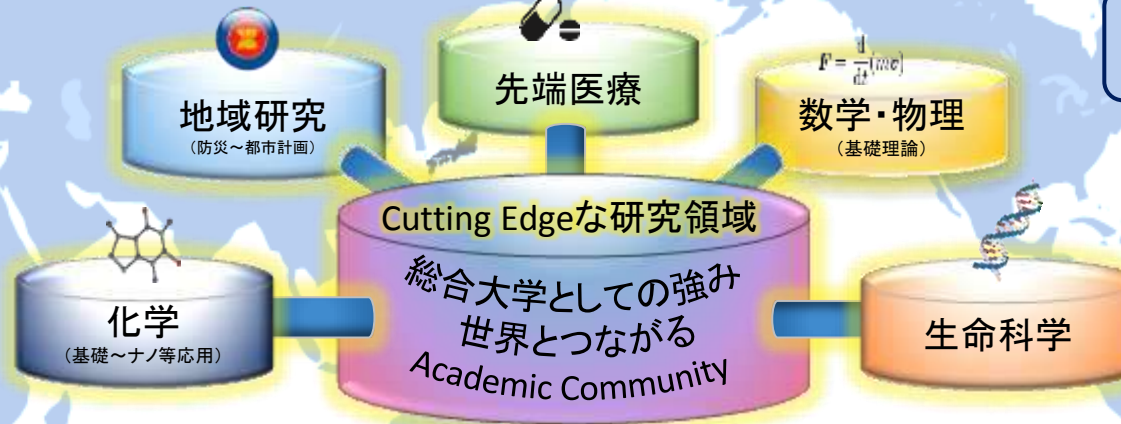
世界トップレベル
の学生の循環

戦略的連携

高度研究所
産業界

戦略的連携

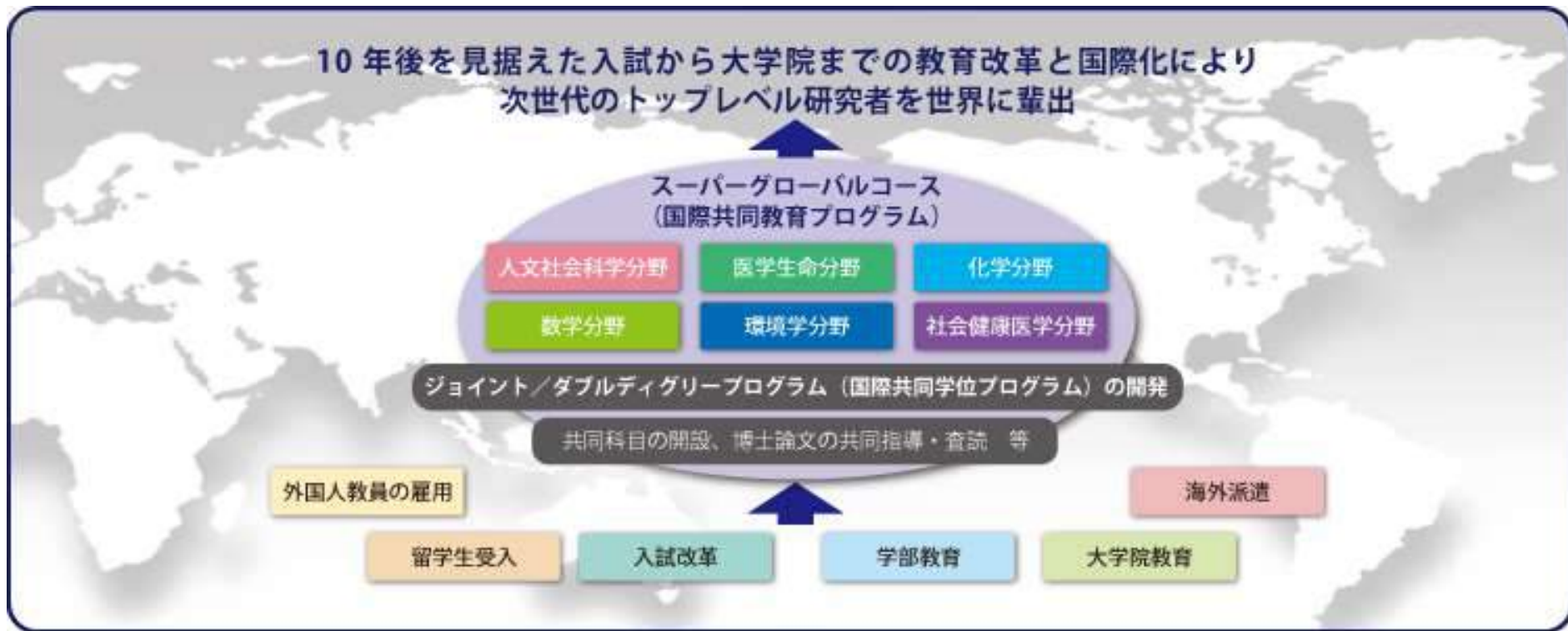
世界のトップ大学



厚い層(3万人超のコミュニティ)・深い奥行き(文化・芸術・宗教都市「京都」)
・広い裾野(人文～自然科学)

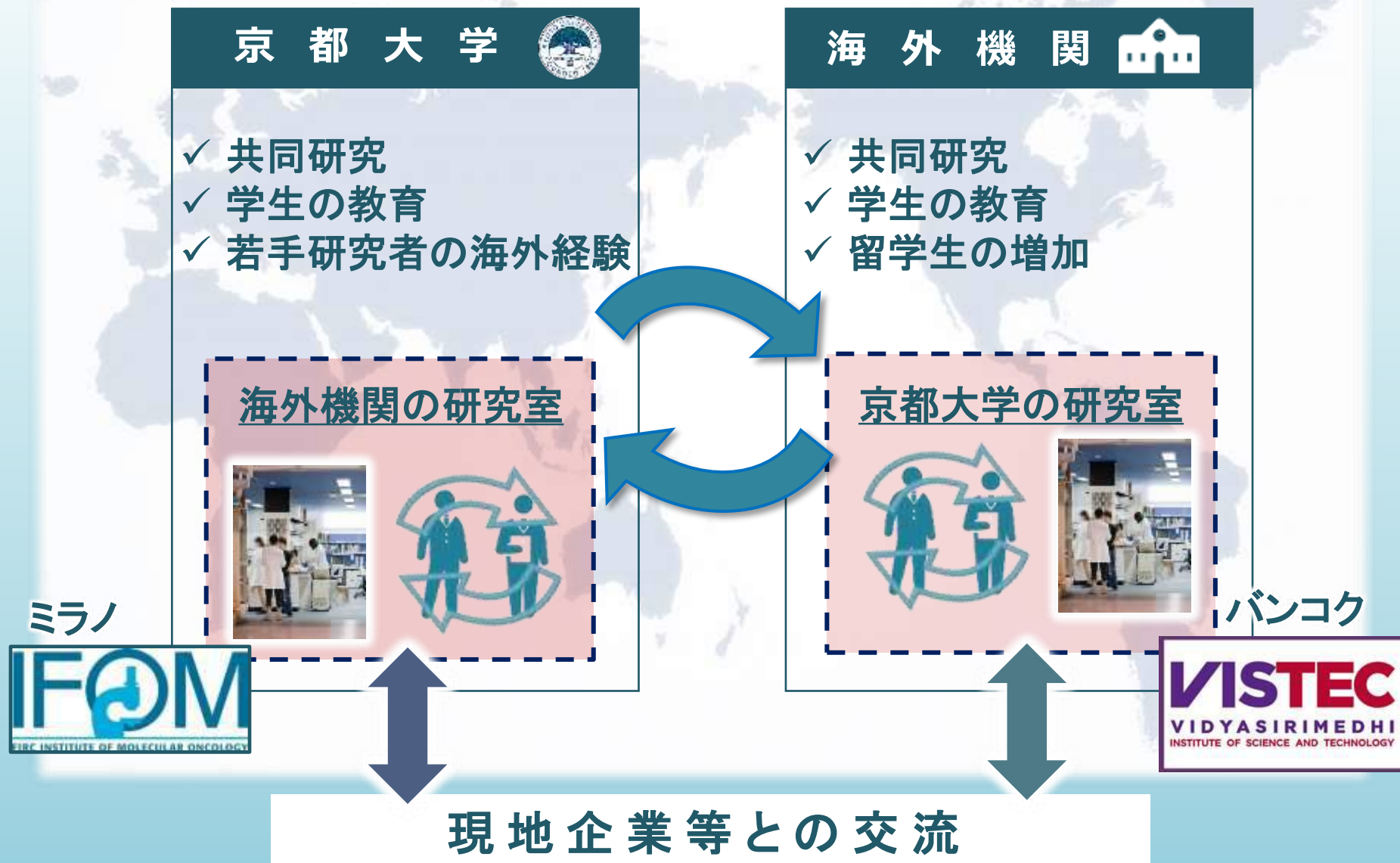
Top Global University Project

スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」



Kyoto University Gateway Project

On-site Laboratories



京都大学On-site Laboratory

京都大学－清華大学環境技術共同研究・教育センター

実施部局 : 工学研究科/地球環境学堂
相手方機関 : 清華大学 (深圳研究生院)
(中国)
設置場所 : 清華大学内 (アウトバウンド型)

環境問題の解決を目指す。国際共同学位プログラムへの発展が期待できる。

京都大学サンディエゴ研究施設



実施部局 : 医学研究科
相手方機関 : カリフォルニア大学サン
ディエゴ校 (UCSD) (アメリカ)
設置場所 : UCSD内 (アウトバウンド型)

※写真は完成イメージ

医学分野における国際共同研究を推進する。優秀な留学生の獲得や産業界との連携の強化が期待できる。

IFOM-KU国際共同ラボ

実施部局 : 医学研究科
相手方機関 : The FIRC Institute of
Molecular Oncology (IFOM)
(イタリア)
設置場所 : 京都大学内 (インバウンド型)

※写真はラボが設置される
医学部E棟

先端のがん生物学研究の推進を目指す。大学院生や若手研究者の育成に資することが期待できる。

Mahidol環境学教育・研究拠点

実施部局 : 地球環境学堂
相手方機関 : マヒドン大学 (タイ)
設置場所 : マヒドン大学内 (アウトバウンド型)

環境学について共同で教育研究活動を行う。優秀な留学生の獲得や国際共同プログラムへの発展が期待できる。

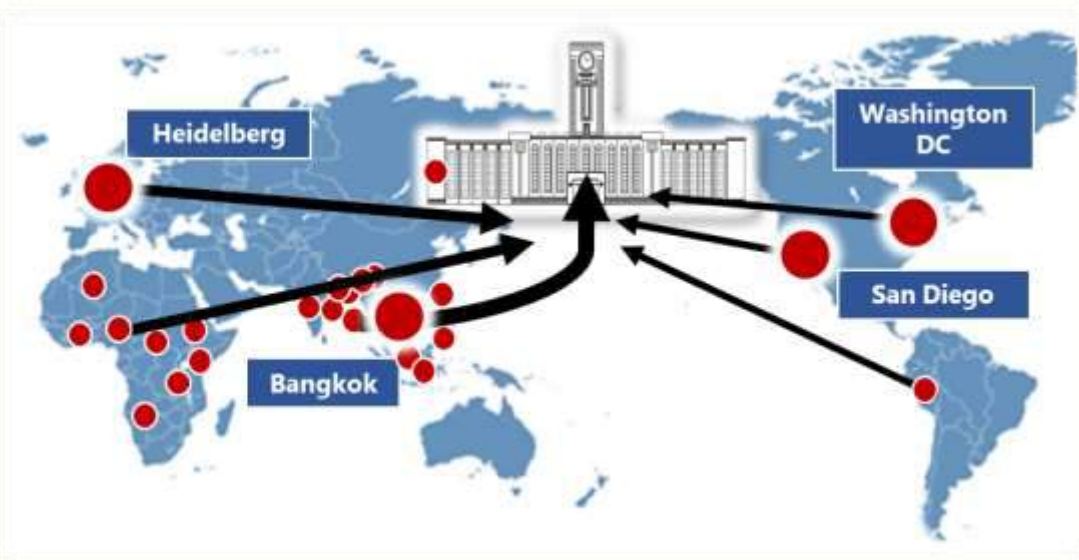
スマート材料研究センター

実施部局 : 高等研究院 (iCeMS)
相手方機関 : ウィタヤシリメティー科学技術
大学院大学 (VISTEC) (タイ)
設置場所 : VISTEC内 (アウトバウンド型)

材料分野における研究の推進を目指す。海外で活躍できる大学院生や若手研究者の育成が期待できる。

留学生増加施策

1. 留学生リクルーティングオフィス



- ✓ 世界中から優秀な人材を誘致
- ✓ 既存リソースとしての58海外拠点・施設
- ✓ 世界に広がる同窓会ネットワーク

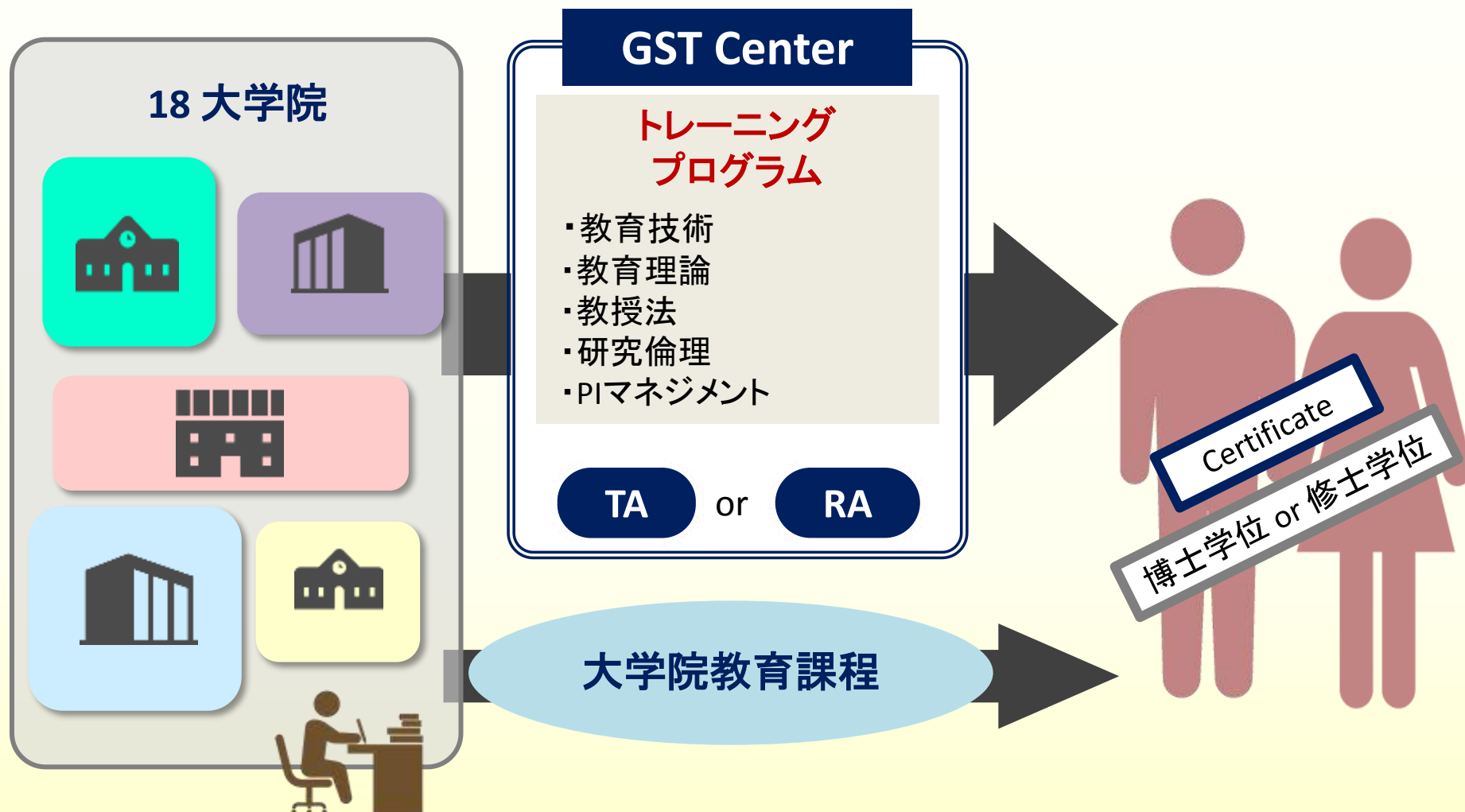
2. 吉田カレッジ(Kyoto iUP)

- ✓ 入学時点での日本語能力不問、徹底的な日本語教育プログラム
- ✓ 日本語での学士学位取得
- ✓ インターンシッププログラムの必修化
- ✓ 多様な価値観と文化を理解



Graduate Student Training (GST) センター

- ✓ 質の高い大学院教育によって培われる専門能力
- ✓ 適正な評価システム



New白眉プロジェクト

- ✓ 総応募数 : 3,888名 (うち国外からの応募1,022名)
- ✓ 採用累計125名 (うち国外からの採用30名)
- ✓ 若手研究者育成



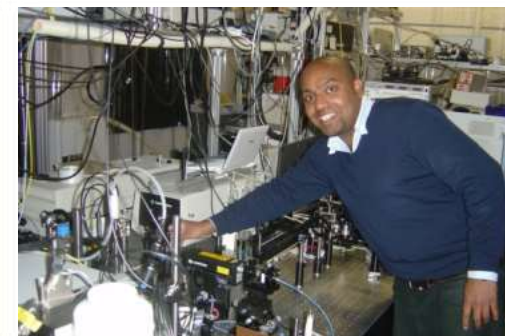
2009～



白眉センター

国際公募型

テニユア型(卓越研究員)

京都大学
教員団*Hakubi community*

2016～

白眉プロジェクト

●概要

- (1) **京都大学独自の取組み**として平成21年度から実施
- (2) 人文社会科学・自然科学の全分野を対象に、毎年**20名**程度を**国際公募**により採用
- (3) 5年間研究に専念できる環境（研究費、研究スペース、研究時間）を提供
- (4) 平成28年度採用より、**従来型（グローバル型）**に加え、「**卓越研究員事業**」の枠組みで**選考を実施する部局連携型（テニュアトラック型）**を導入



【グローバル型／Global Type】

- 年俸制特定教員（任期5年）採用
- 白眉センターに所属
- 年間1～4百万円の研究費支援

【部局連携型／Tenure -Track Type】

- テニュアトラック教員として採用
- 部局に所属（白眉センターを兼任）
- 卓越研究員事業による研究費支援

●採用実績 例年約30倍の倍率で、女性、外国人の応募も多数あり

■平成28年度採用（グローバル型）

応募数 483名（うち女性：101名（20.9%） 外国人：128名（26.5%））
内定者数 11名（うち女性：0名（0%） 外国人：0名（0%）） 倍率 43.9倍
※卓越研究員事業を活用した部局連携型の内定者数は5名（うち女性：1人 外国人：0人）

■平成29年度採用（グローバル型）

応募数 382名（うち女性：94名（24.6%） 外国人：112名（29.3%））
内定者数 12名（うち女性：4名（33.3%） 外国人：2名（16.7%）） 倍率 31.8倍
※卓越研究員事業を活用した部局連携型は現在当事者間交渉中（平成29年度は9ポストを提示）

社会との連携

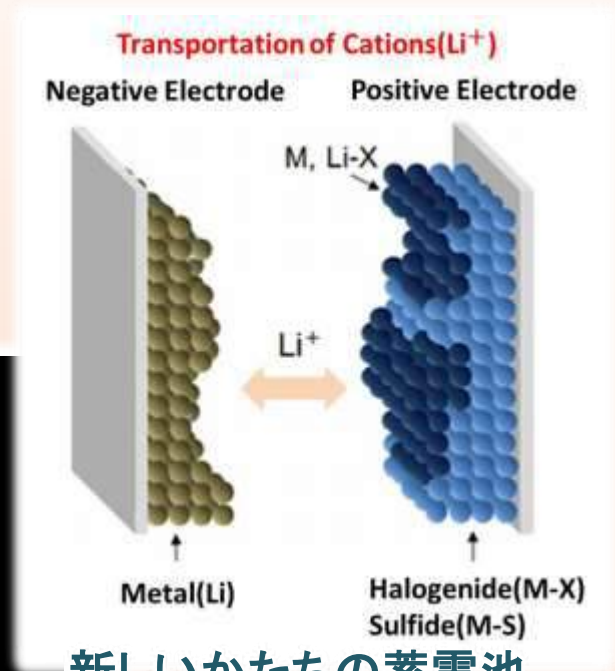
ASEAN地域への貢献・協働

- ✓ 東南アジア地域研究研究所(1965年設立)
- ✓ 京都大学ASEAN拠点ネットワーク会議
(21部局から横断的に参加)
- ✓ 京都大学ASEAN拠点(バンコク)
(29事務所・施設のハブ)



研究成果・知的財産の活用促進

- ✓ 新薬開発 (メディカルイノベーションセンター)
- ✓ 医療機器開発(Techno-hub)
- ✓ 再生医療(T-CiRA)
- ✓ 蓄電技術の革新



人文・社会科学の未来形



今西錦司



桑原武夫



西田幾多郎

- ・京都学派
- ・ハイデルベルク大学との「文化越境」ジョイントディグリー・プログラム
- ・新しい社会科学としてのエビデンスベース人間科学の確立
(高齢化、貧困、社会格差、経済危機...)

Social impact

学術の創造
と継承

科学の融
合

1897~

1949~

1962~



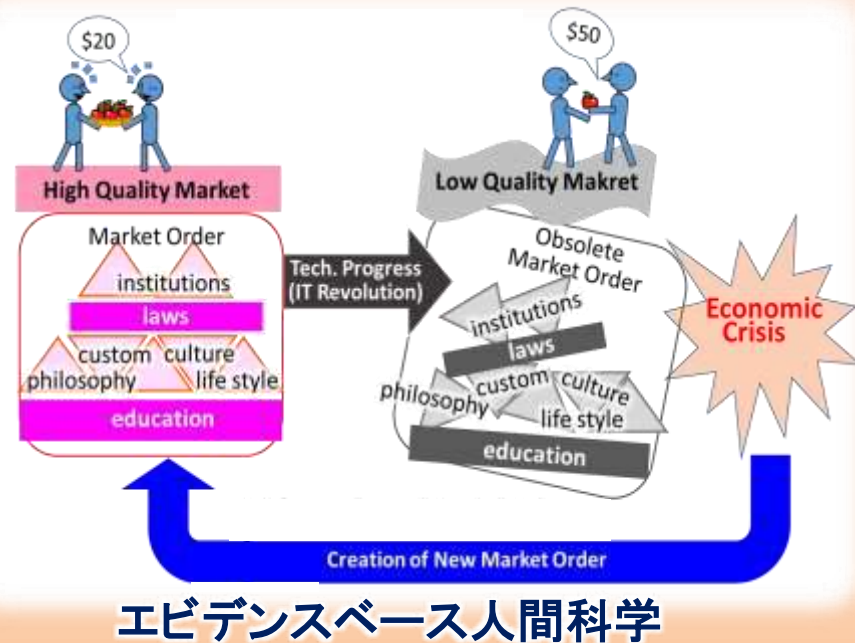
人文学部・
大学院創設



人文科学研究所



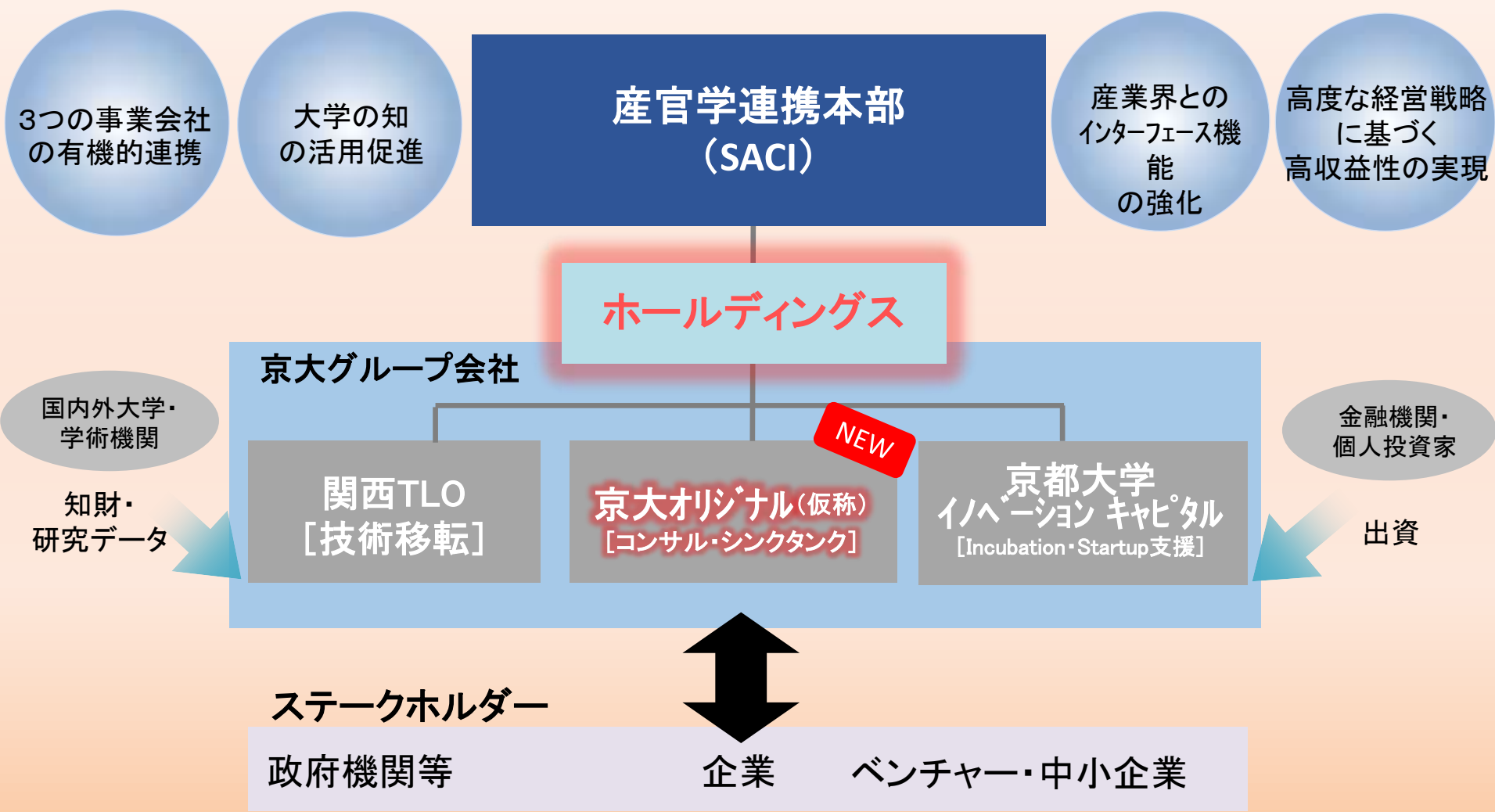
経済研究所



研究成果と知的財産の活用

産官学連携における「京大モデル」の確立

大学の知・人材・資金の好循環を生み出す



京大オリジナルの事業ストラクチャー

①研修・講習事業

KU Academic Extension Program

(1) 一般教養イベント

- ・文化、芸術、科学技術などについて一般聴衆向けのイベント

(2) 産官学連携イベント

- ・新技術説明会、企業とのマッチング等のイベント

(3) 社会人エグゼクティブ研修

- ・ビジネスリーダー・エグゼクティブ等を対象した高度スキル研修

(4) 社会人オーダーメイド研修

- ・企業等のニーズに基づき、カスタマイズを行うオーダーメイド型の研修



②コンサルティング事業

KU Industrial Liaison Program

(1) 課題解決型コンサルティング

- ・社会課題・技術課題等に対して大学の研究者によるアカデミックな見地からの「専門的知識」を提供

(2) 課題探求型コンサルティング

- ・ビジョンや中長期戦略など、課題探索をしている企業等に対し、幅広いアカデミックの見地からコンサルテーションを実施

※産官学コンソーシアムの企画・運営機能等も担う形態も想定



③事業化支援事業

KU Innovation Support Program

(1) 産官学連携窓口機能

- ・京都大学に寄せられる産官学連携相談の窓口機能
〔産官学連携本部のリエゾン機能をアウトソーシング〕

(2) 事業化学内ファンド運営

- ・京都大学で実施しているGAPファンドプログラムやインキュベーションプログラムの事業管理・運営



京都大学教員のみならず、京都大学名誉教授・京都大学OBなどの協力、
京都大学グループ会社、京都アカデミアフォーラムパートナー大学と
連携して事業展開

産官学連携の新しい「京大モデル」の構想

【期待される効果】



①

企業、経済団体及び駐日外国公館などとのネットワーク強化により新たな知・人材・資金の好循環が生まれ、産官学連携の契機が拡大する。

②

特許以外にも大学の無形の知・アイデアを産業界のみならず広く社会に展開することにより、新たな社会価値創出に貢献できる。

③

産官学連携に携わる専門人材を適切な処遇で雇用することが可能となり、高いスキルと意欲を持った優秀な人材を持続的に確保できる。

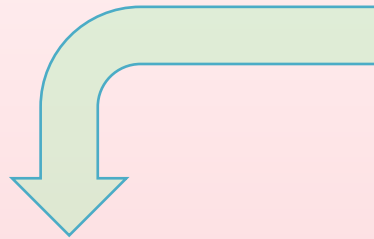
④

事業により得られた収益等を大学及び研究者に還元し、財政基盤を強化することにより、更なる教育研究活動の活性化が可能となる。

財務基盤の強化

【Good Practice】ワンストップ創薬支援

- ✓ 寄付による自己収入拡大
- ✓ 有効な資産活用
- ✓ 独自の収入事業の展開



産官学連携本部

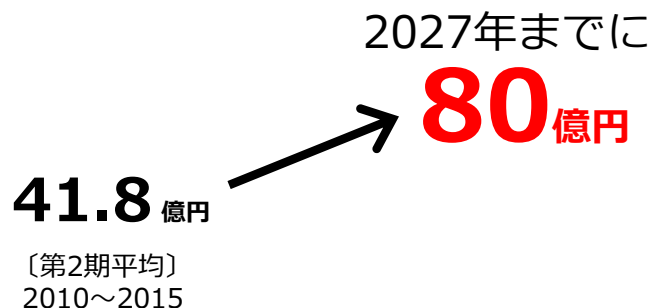


- 大学発ベンチャーの創出
- 安定的な自己収入拡大と強固な財務基盤の構築

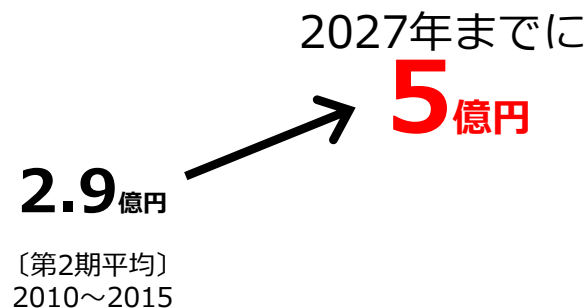
京都大学が掲げる産学連携のKPI(Key Performance Indicator)

○ 第4期中期目標・中期計画期間（2027年度）までに達成すべき指標

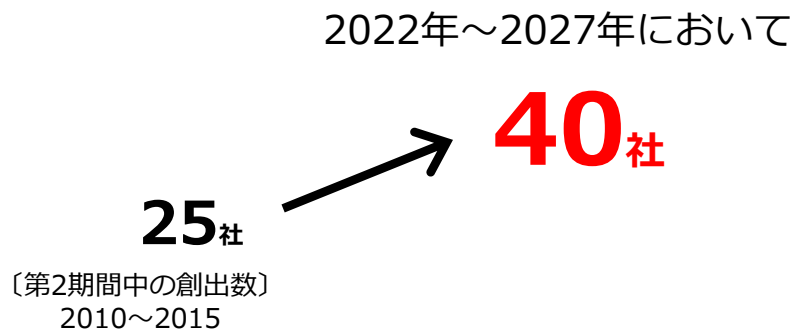
民間企業からの共同研究費



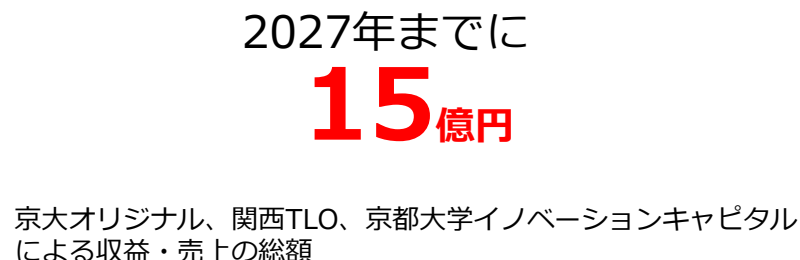
知的財産収入



京大発ベンチャー創出数



京大収益事業（産官学連携）



京大モデルの確立により戦略的な産官学連携活動を展開

知識集約型社会・地域環境共生圏



情報技術の賢い利用

ネットワーク型の連携

身体や五感を使った交流

予防医療による健康社会

風土に合った暮らしの設計



人口縮小・都市一極集中・格差拡大

環境

安全安心社会

**公共財としての学術
地域連携プラットフォーム**

先端技術

**文化
宗教**

健康長寿社会

医療

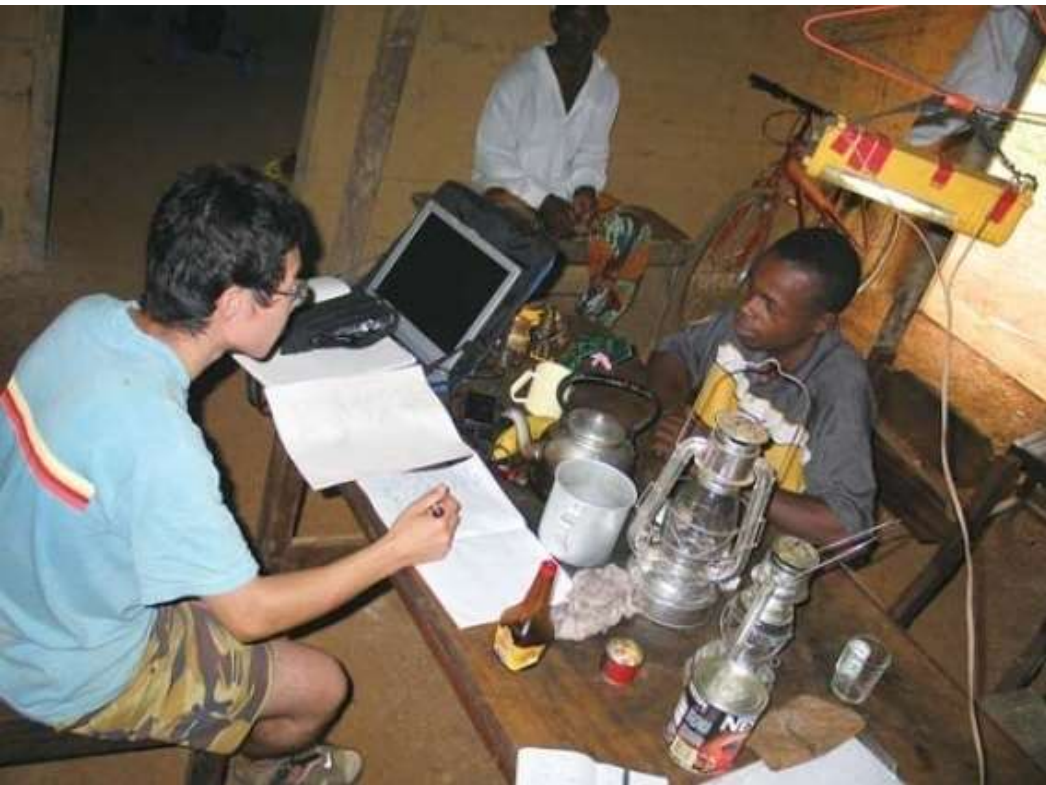
現代の大学教育

- 知識を伝える教育は過去のもの
- 知識はインターネットの中にある
- 既存の知識ではなく、未知の世界を教える
- 考え方や実践の方法を教える
- 大学だけが学びの場ではない



共感力を使った学びの場

対話とフィールドワーク

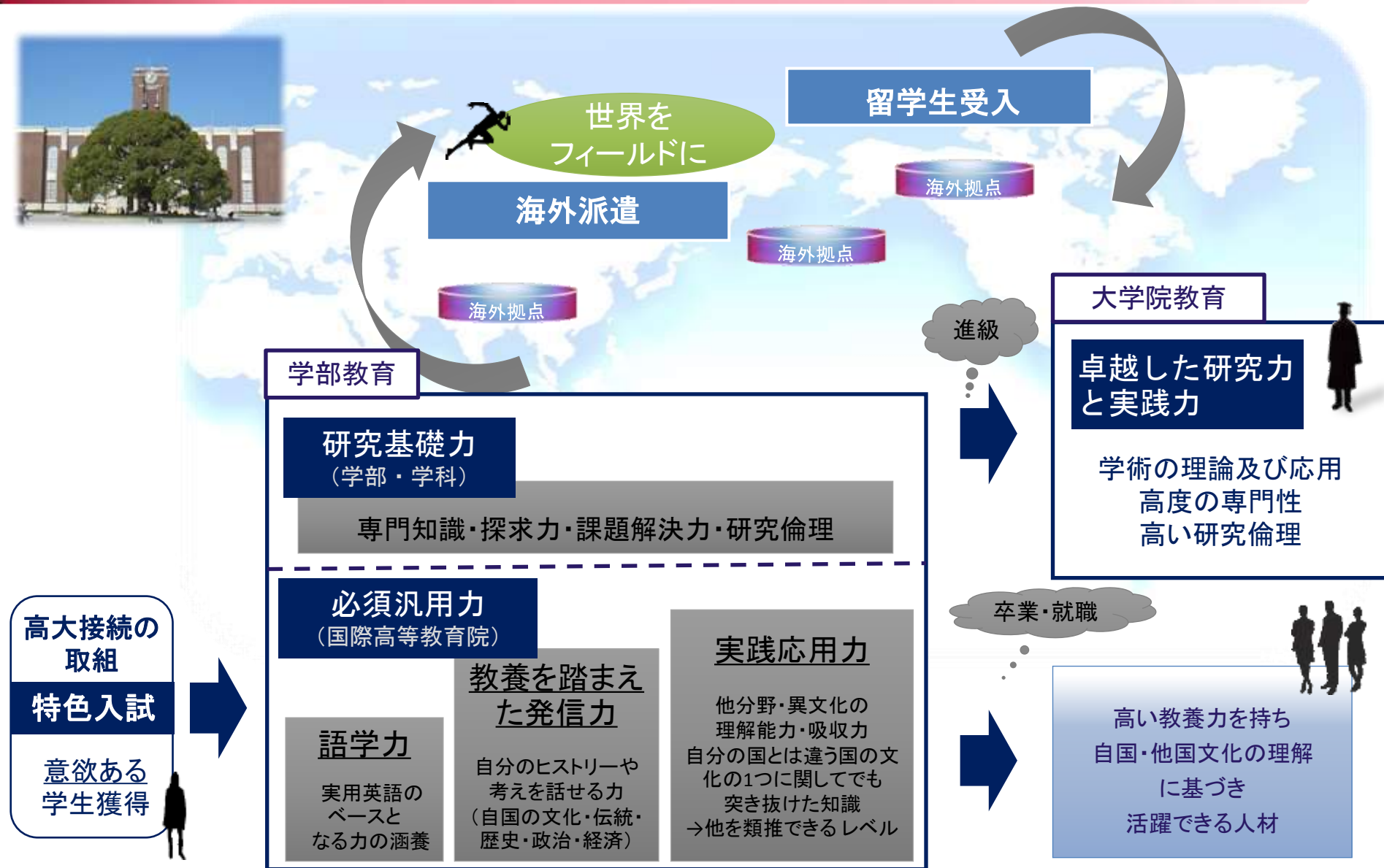


國際交流



京都大学が養成する人材像

➤卓越研究力 + ➤英語力 ➤教養力 ➤発信力 ➤実践応用力



高大連携事業

グローバルサイエンスキャンパス



京都大学高大連携事業 学びコーディネーターによる 出前授業・オープン授業



京都大学サイエンスフェスティバルー科学の頭脳戦



女子高生・車座フォーラム





ILAS Seminar

目的

- ・初年次の学生に世界最先端の研究に触れてもらう

Students learn the excitement and significance of study

Concept

- ・少人数 (**5-25 students**)
- ・対話を通じた学習

規模

- ・約 **300コース** (海外実習も含む)





おもしろチャレンジ

目的

- ・野心的で挑戦的な精神を涵養する

計画

- ・立案はすべて学生自身
- ・体験型学習プログラム

期間

- ・3週間以上

行先

- ・世界中どこでも



30万円まで

Destinations

Europe: 9

N. America: 5

Asia: 7

Africa: 9

Oceania: 1

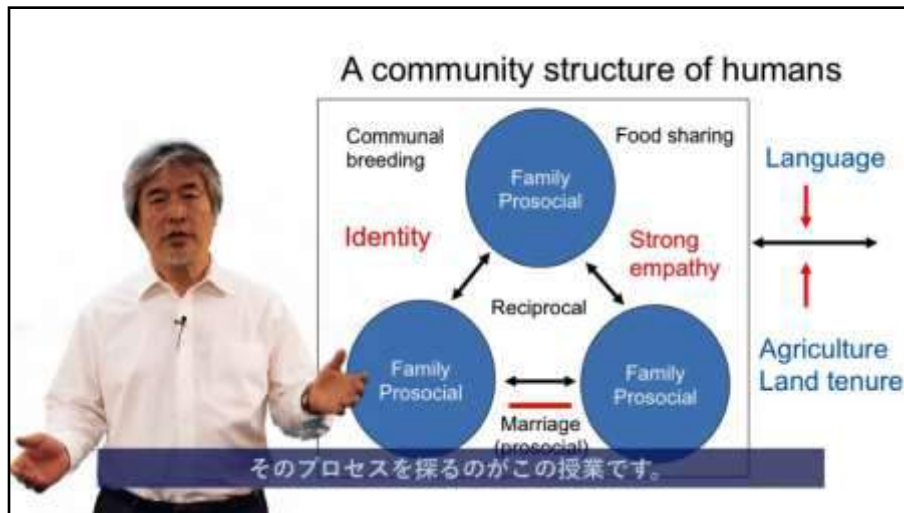
(Numbers of Students)



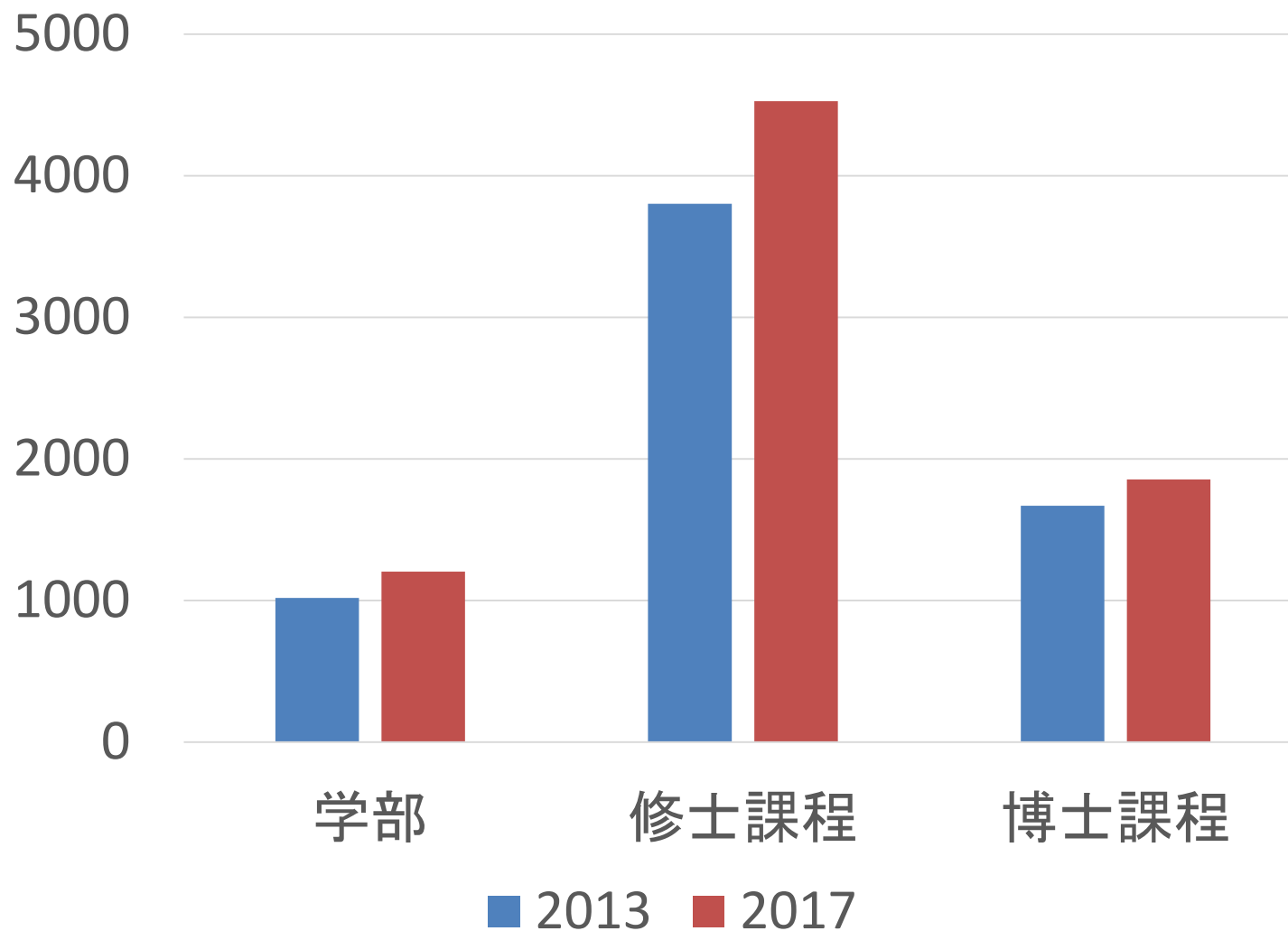
おもろチャレンジ



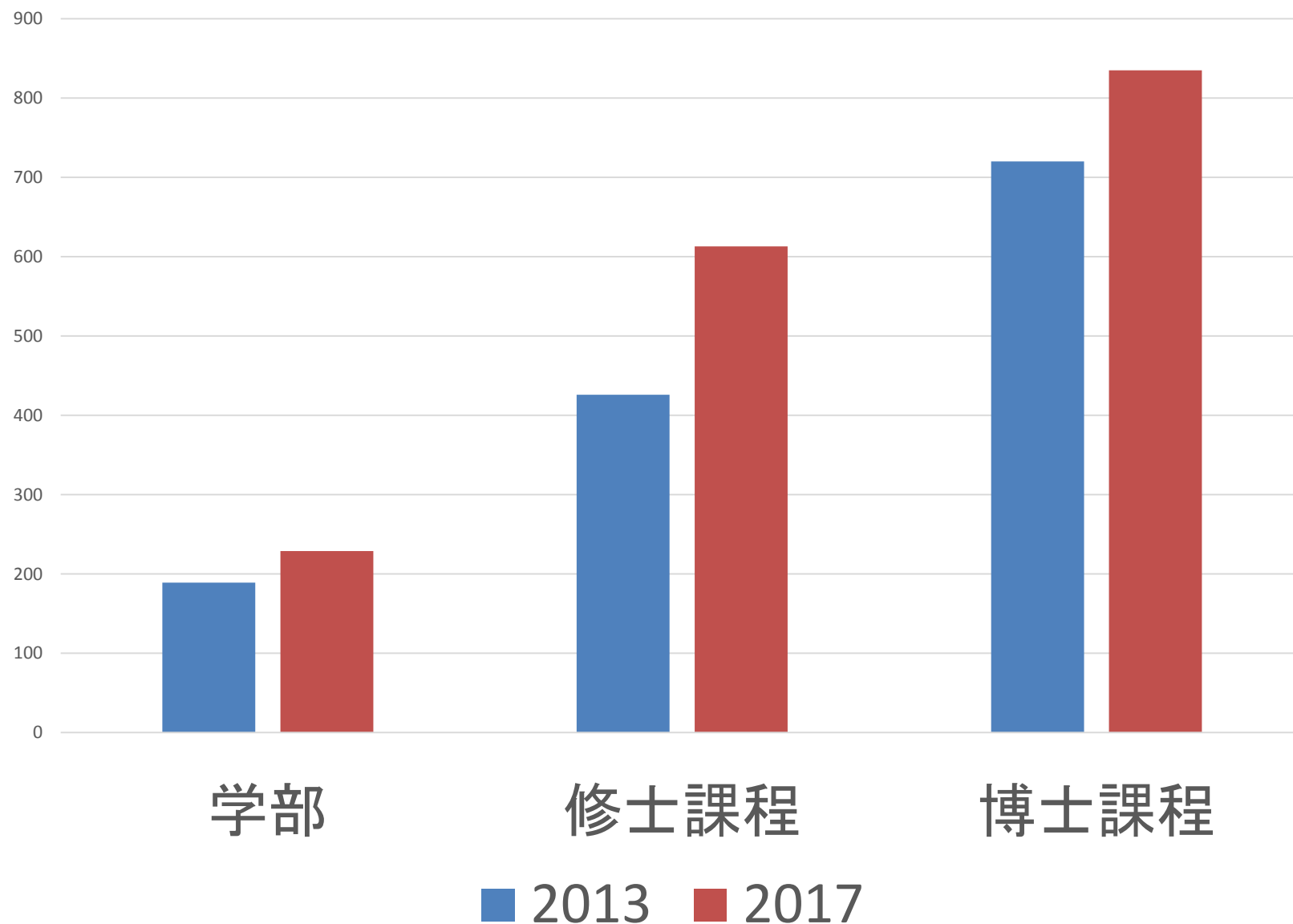
MOOCの授業



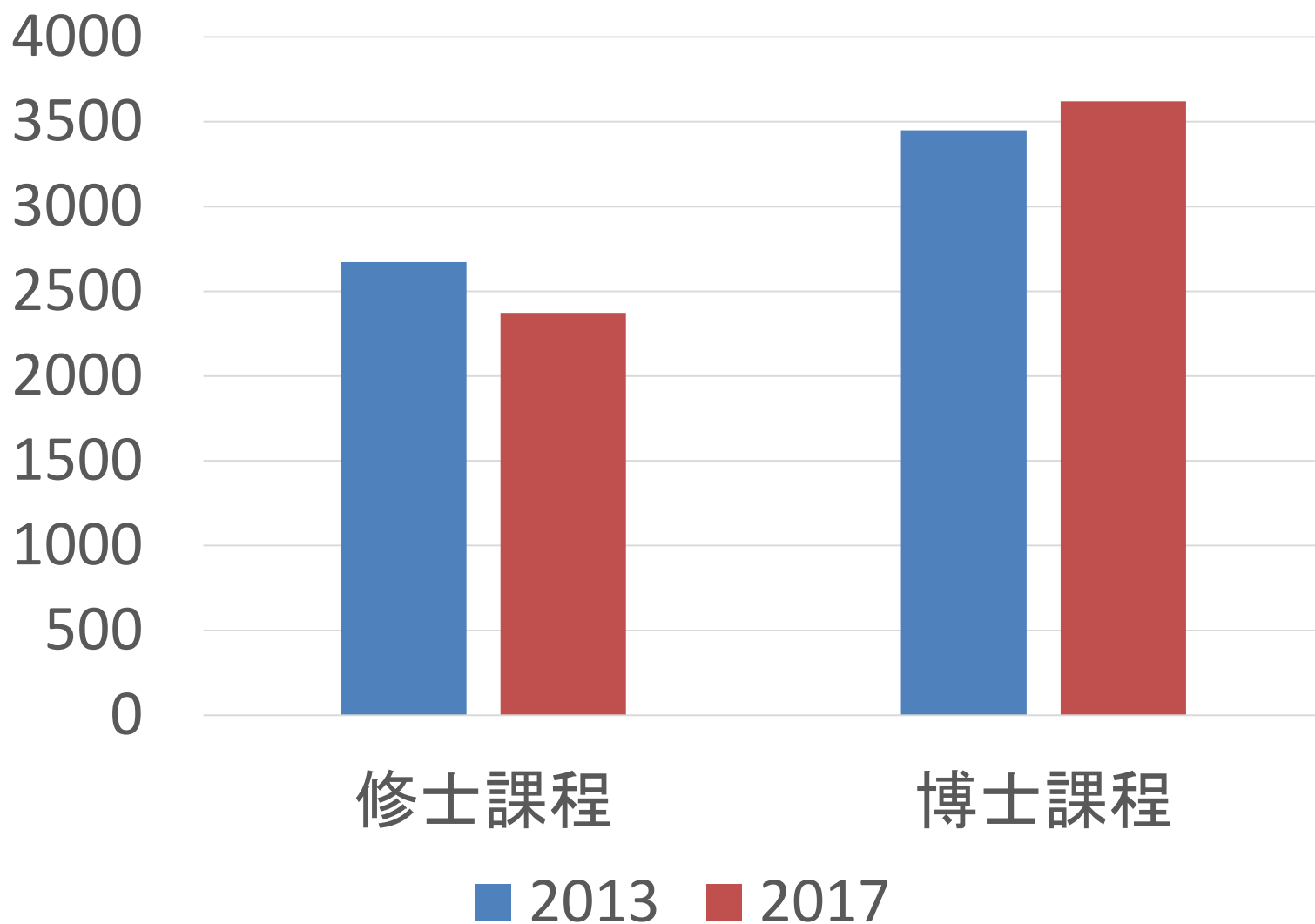
留学生数(国立大学全体)



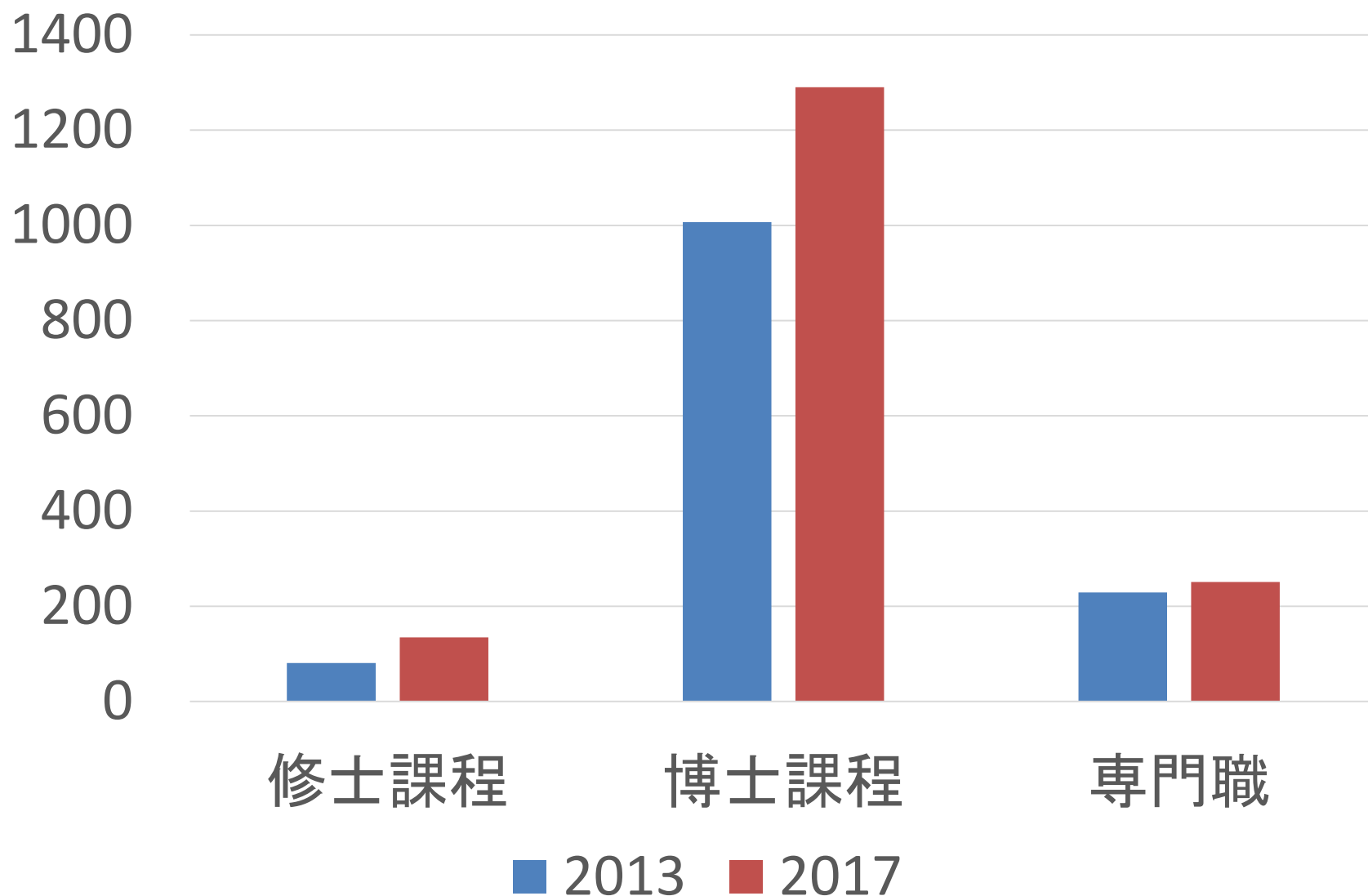
留学生数(京都大学)



社会人学生数(国立大学全体)



社会人学生数(京都大学)



ダブルディグリー・ジョイントディグリー

■ 今後はさらに各プログラムを拡充し、新たな取組みとして、「コチュテール」(博士論文の共同指導に基づく共同学位)の枠組みの導入を検討する。

ダブルディグリープログラム

ジョイントディグリープログラム

ハイデルベルク大学 (ドイツ)
2017. 10. 1設置予定 文学研究科 (修士)

マギル大学 (カナダ)
2018. 4. 1設置予定 医学研究科 (博士)

ボルドー大学 (フランス)
2017. 3. 27締結 エネルギー科学研究科 (博士後期)

国立台湾大学 (台湾)
2014. 9. 1締結 経営管理大学院(専門職)
2017. 5. 19締結 医学研究科(社会健康医学系専攻)(専門職)

チュラロンコン大学 (タイ)
2014. 3. 13締結 医学研究科 (社会健康医学系専攻) (専門職)
2016. 8. 17締結 エネルギー科学研究科 (修士)

マラヤ大学 (マレーシア)
2014. 3. 13締結 医学研究科(社会健康医学系専攻)(専門職)
2016. 7. 28締結 エネルギー科学研究科 (修士)

カセサート大学 (タイ)
2014. 4. 1締結 農学研究科 (修士)

マヒドン大学 (タイ)
2016. 11. 14締結 地球環境学堂 (修士)

ガジャマダ大学 (インドネシア)
2014. 4. 21締結 農学研究科 (修士)

バンドン工科大学 (インドネシア)
2016. 11. 14締結 農学研究科 (修士)

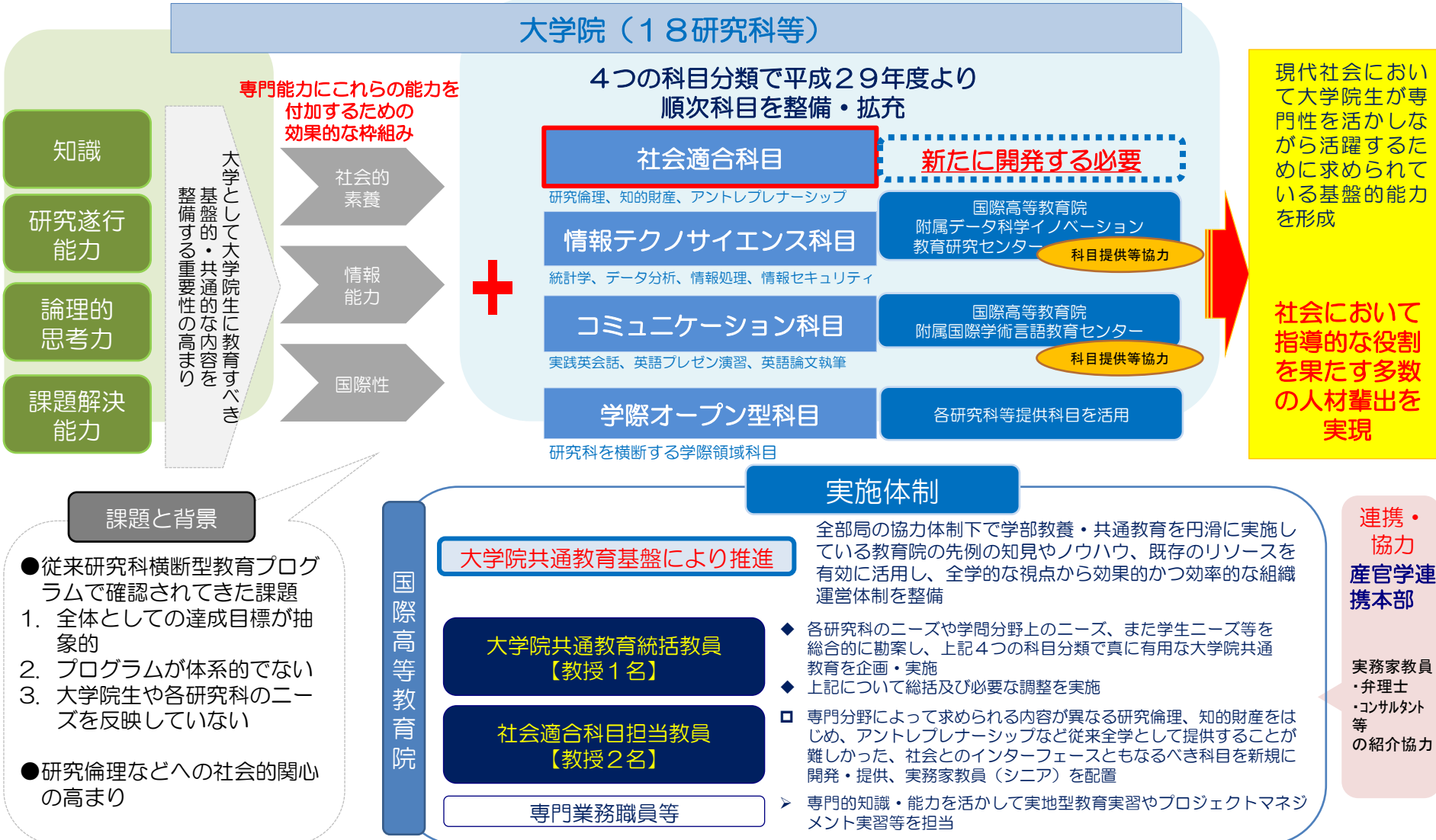
ボゴール農業大学 (インドネシア)
2016. 11. 14締結 地球環境学堂 (修士)
2016. 12. 2締結 農学研究科 (修士)

■ ダブルディグリープログラム: 修士12プログラム、博士後期1プログラム

■ ジョイントディグリープログラム: 修士1プログラム、博士1プログラム

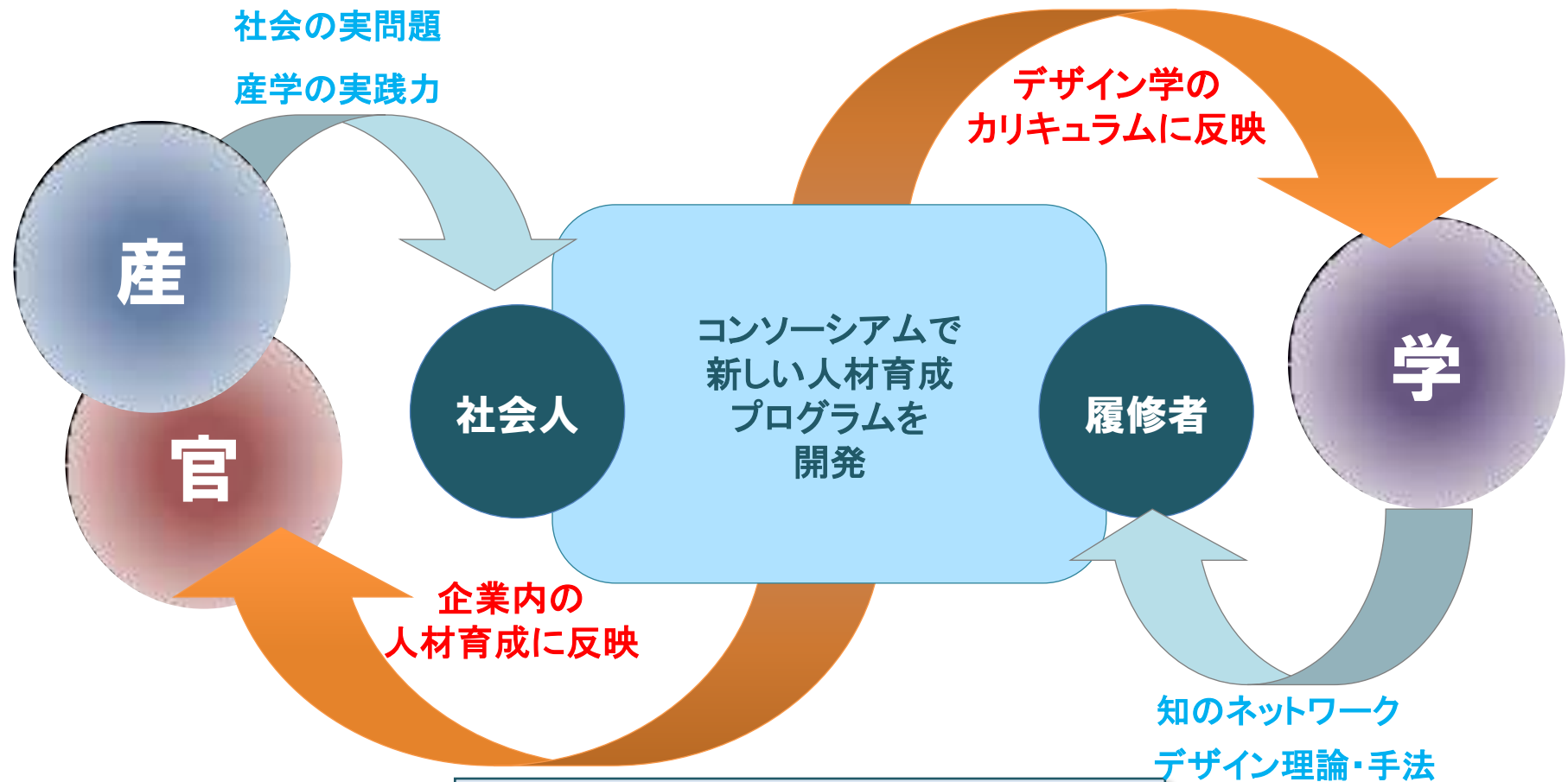
大学院共通教育実施事業

従来各研究科の専攻・専門分野での教育研究を通じて養成されてきた専門的知識・能力に加えて、現代社会において求められている、社会的素養、情報能力、国際性を付加的に装着させるための大学院共通教育を実施する。



リーディング大学院 産学官コンソーシアムの設立

産学官での人材育成を目指しデザインイノベーションコンソーシアムを設立。
企業や公的機関など69会員（平成29年6月末現在）



京都大学デザインイノベーション拠点フェロー（学外）

竹中工務店

野村総研

オムロン

日本総研

ソニー

日建設計

博報堂

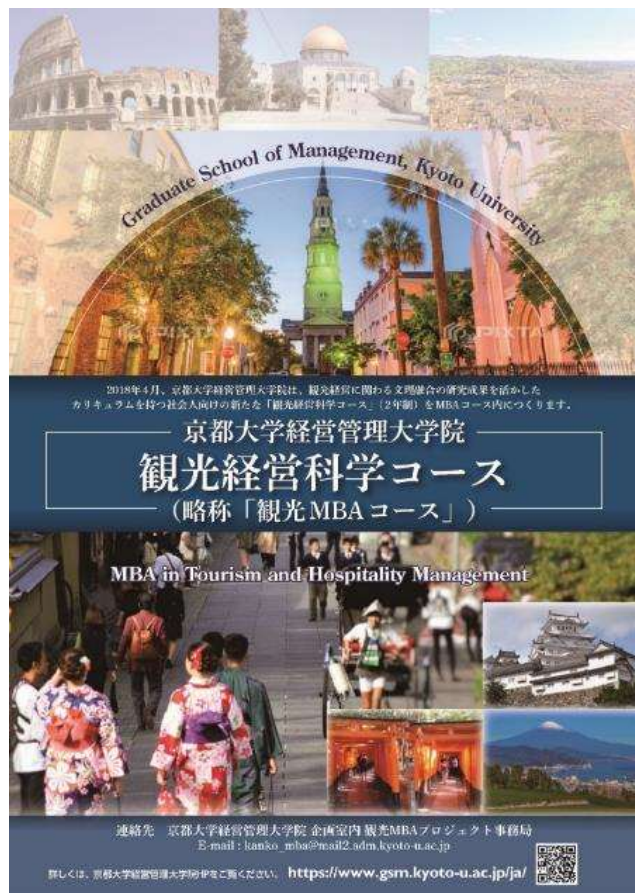
三菱電機

NTT

京都リサーチパーク

フェローは大学と共に活動。履修者に多様なキャリアパスの見通しを与える。

・観光経営科学コース（観光MBAコース）



- ・ 世界一の観光都市京都で世界に選ばれる日本の観光を創るMBA

- ・ 2018年4月開講
- ・ 産学連携型／文理融合の人材開発

本コースが目指す能力開発

- 1 日本の魅力を国際的に発信、集客
- 2 おもてなしサービスのイノベーション
- 3 新たな観光ビジネスを創造する

観光産業と観光地の経営の高度化を通して、観光客の拡大と地方創生をリードし、日本の観光立国をすすめる高度経営人材の開発を進める

- 京都大学学生チャレンジ
コンテスト（SPEC：
Student Projects for
Enhancing Creativity）

A vertical poster for the SPEC (Student Projects for Enhancing Creativity) contest. The top half features a close-up profile of a young man looking thoughtfully to the right, with a black pen held in his mouth. The background is a warm, golden-brown color. The bottom half has a dark red background with white text. The main title 'SPEC 京大生チャレンジコンテスト' is at the top left. The central text '君のアイデアをカタチにしないか?' is written in large, bold, red characters. Below this, the text 'SPECの募集がスタート!' is in white. Further down, there are several lines of smaller white text providing details about the contest, including the application period and contact information. A QR code is located in the bottom left corner.

SPEC 京大生チャレンジコンテスト
Student Projects for Enhancing Creativity

**君のアイデアを
カタチにしないか？**

SPECの募集がスタート！

「アイデアをカタチにできる実行力がある！」「自分の熱意と挑戦を社会に問いたい！」
そんな京大生の応募を待っています。

SPECは人を「あっ」と驚かせるようなアイデアなら、
学域から文化、芸術、スポーツ、ボランティアまであらゆる活動が対象です。
あなたの「やりたいこと」は何ですか？
採択プロジェクトには、京都大学基金がクラウドファンディングで寄付を募り、
活動資金として支給します。

申請期間 2017年8月21日(月)～8月25日(金)

詳しくは、下記URLより募集要項をご覧ください。
<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/campus/spec/>
●お問い合わせ先 教育推進・学生支援部 学生課 総務係 TEL.075-753-2503 E-mail: spec@mail2.edm.kyoto-u.ac.jp

学際融合教育研究推進センター

全学的・部局横断的な取り組みに対して柔軟かつダイナミックに対応し、
かつ対処だけでなく**挑戦的に「異分野融合」**をしかける組織

①分野横断の教育・研究ユニットの創発と運営支援

複数部局の教員らが学際チームを作り教育・研究を推進。
現在**36**ユニット（6年前は9ユニット）

②組織横串的かつゲリラ的に全学的取り組み推進

今年5回目の**学際研究着想コンテスト**や、学内の良縁作りの企画「**京大100人論文**」など

③定量目的化困難な“気風”や“土壌”作り

毎月開催している**異分野交流会**（今年5年目。毎回30名程度）、企業様オーダーによる「**100分野WS**」の開催など



昨年度実績：学際センターが支援した**学際的研究会10**！創出した**チーム9**！

お見合いさせた出会い35！そして、実施した**異分野交流会系企画は実に20**！

「京都アカデミアフォーラム」 in 丸の内の開設

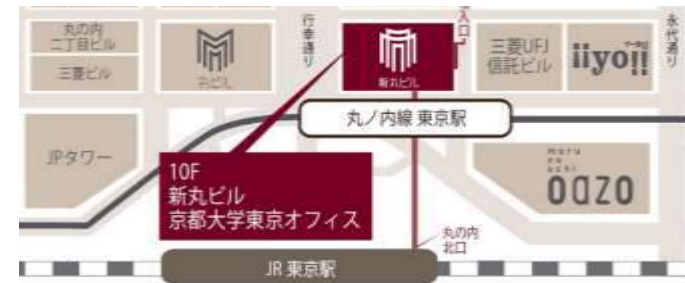
(目的)

- 京都府下の大学等が連携し情報発信
- 京都の科学技術、文化、芸術など
「大学の街-京都」のプレゼンス向上を図る
- 産学連携の活動拠点として企業等との交流活性化を図る



□ 新丸の内ビルディング10階
(東京駅丸の内口すぐ)

□ 10大学が参加



京都外国語大学
Kyoto University of Foreign Studies



京都精華女子大学
京都光華女子大学



京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY



京都女子大学

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts—founded in 1948—

京都精華大学
KYOTO SEIKA UNIVERSITY



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



けちあう けきあう
京都橘大学



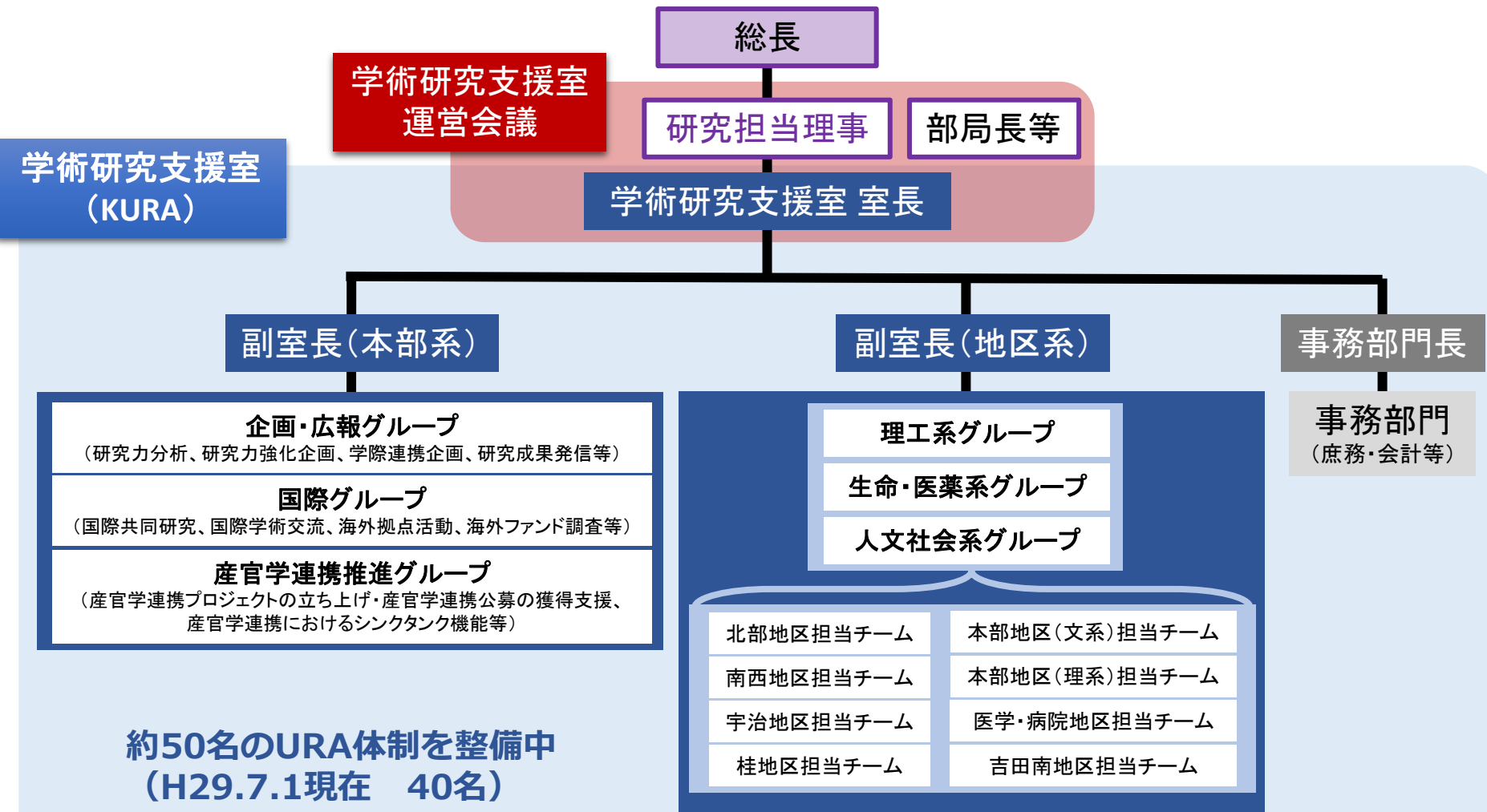
KYOBİ
京都美術工芸大学



同志社女子大学
Doshisha Women's College of Liberal Arts—founded in 1979—

リサーチ・アドミニストレーター(URA)の組織体制の一元化

学術研究支援室 体制



産学協働イノベーション人材育成協議会(C-ENGINE)

設立の背景

○イノベーション創出を担う高度理系人材（特に博士人材）の育成が急務とされる一方、これまで大学で育成された人材は特定専門領域に特化する傾向があり、産業界からは幅広い視野・視点や社会的実践能力の不足が懸念
○これらの実践能力を養成する手段として中長期研究インターンシップの有効性が指摘
→文科省リーディングプログラム等により先進事例作りが行われているが、産業界も一部負担する形での取り組みはほとんどされていなかった
産と学の交流をとおしてイノベーションを創出できる人材育成をめざす大学・企業のコンソーシアムとして、経産省の支援を受け平成26年1月に設立（代表理事 北野正雄（京都大学理事・副学長））

協議会の取り組み

- 1. 組織と組織のインターンシップ
コンソーシアムとして事例を共有
→研究インターンシップの質向上
- 2. 中長期の研究インターンシップ
基本技術の指導や習得だけでなく、より実践的な研究を
とおして協働する場を提供
- 3. オンラインとオフラインでのマッチング
IDMシステムと、大学コーディネーターのハンズオン支援
により、効率的でいいマッチングの仕組みを構築

協議会会員（2017年9月現在 14大学・34企業）

**東北大学**

**筑波大学**

**東京大学**

**東京工業大学**

**早稲田大学**

**東京理科大学**

**お茶の水女子大学**

**京都大学**

**大阪大学**

**大阪府立大学**

**神戸大学**

**奈良女子大学**

**九州大学**

**鹿児島大学**

**花王株式会社**

**京セラ株式会社**

**JNC株式会社**

**シスメックス株式会社**

**株式会社島津製作所**

**清水建設株式会社**

**住友化学株式会社**

**住友電気工業株式会社**

**住友電装株式会社**

**住友理工株式会社**

**住友林業株式会社**

**ダイキン工業株式会社**

**大日本印刷株式会社**

**株式会社竹中工務店**

**DMG森精機株式会社**

**一般財団法人電力中央研究所**

**東レ株式会社**

**株式会社巴川製紙所**

**株式会社日本触媒**

**日本ゼオン株式会社**

**株式会社日本総合研究所**

**日本電信電話株式会社**

**パナソニック株式会社**

**日立化成株式会社**

**日立金属株式会社**

**富士フイルム株式会社**

**株式会社堀場製作所**

**三菱重工業株式会社**

**三菱電機株式会社**

**株式会社村田製作所**

**ヤフー株式会社**

**楽天株式会社**

**株式会社リコー**

**ロート製薬株式会社**

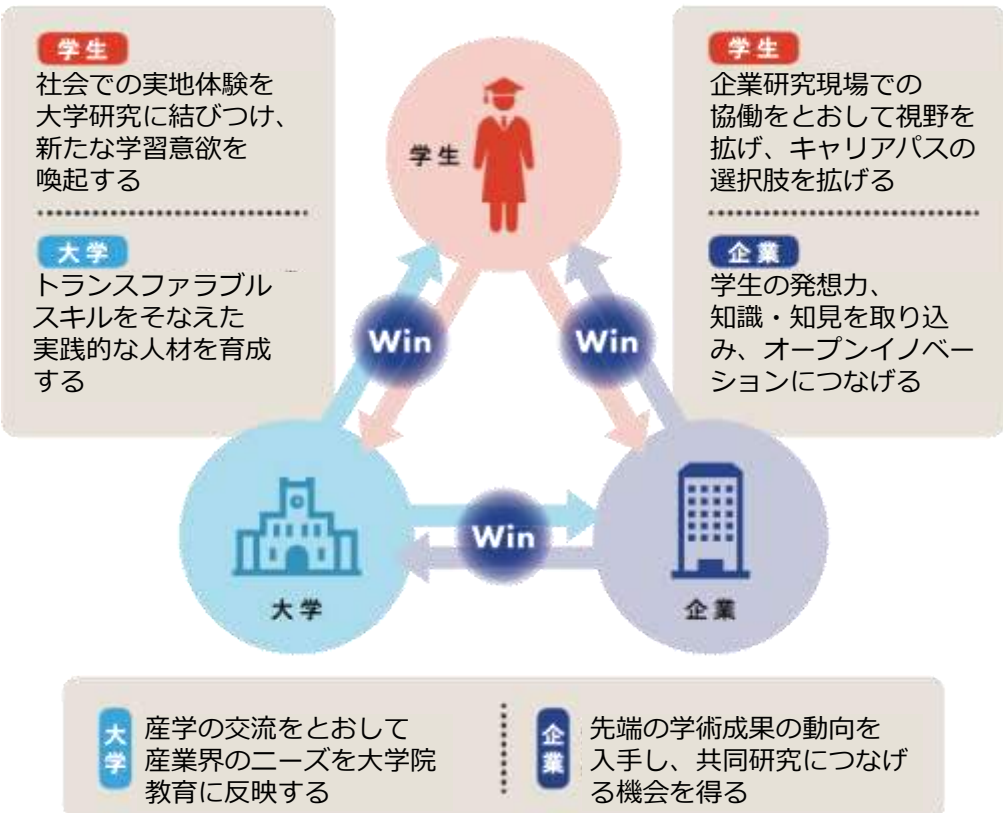
**(50音順)**

大学

企業

協議会がめざすインターンシップ

学生・大学・企業がWin³となるインターンシップをめざします



京大おもしろトーク

第1回「京大おもしろトーク：アートな京大を目指して」

垣根を越えて
みまひよか?

【登壇者】
山根 隆一 (学人局長)
横田 隆夫 (人文学部学術部長)
松本 隆夫 (人文学部学術部長)
小川 隆夫 (人文学部学術部長)
川上 隆夫 (デザイン学ユニット教員)
山内 隆夫 (経済学部学術部長)

【司会】
横田 隆夫

【開催日時】
2018年4月24日(金) 午後6時～8時
会場：京大百年時計台記念館2F (京大文庫のホール)

【参加費】
2000円 (税別) (学生は1000円)

【申し込み】
京大百年時計台記念館2F (京大文庫のホール) 受付
電話：075-753-2000 (受付時間：9時～17時)

第7回 京大変人講座

新春★京大変人会議

【登壇者】
山根 隆一 (学人局長)
横田 隆夫 (人文学部学術部長)
松本 隆夫 (人文学部学術部長)
小川 隆夫 (人文学部学術部長)
川上 隆夫 (デザイン学ユニット教員)
山内 隆夫 (経済学部学術部長)

【司会】
横田 隆夫

【開催日時】
2018年1月12日(金) 18:30-20:00
会場：百年時計台記念館1F 百年記念ホール

【参加費】
2000円 (税別) (学生は1000円)

【申し込み】
京大百年時計台記念館1F 百年記念ホール 受付
電話：075-753-2000 (受付時間：9時～17時)

矛盾をはらんだ創造

【登壇者】
山根 隆一 (学人局長)
横田 隆夫 (人文学部学術部長)
松本 隆夫 (人文学部学術部長)
小川 隆夫 (人文学部学術部長)
川上 隆夫 (デザイン学ユニット教員)
山内 隆夫 (経済学部学術部長)

【司会】
横田 隆夫

【開催日時】
平成28年10月17日(月) 午後6時15分～8時15分
会場：京大百年時計台記念館2F (京大文庫のホール)

【参加費】
2000円 (税別) (学生は1000円)

【申し込み】
京大百年時計台記念館2F (京大文庫のホール) 受付
電話：075-753-2000 (受付時間：9時～17時)

京大変人講座

「探検！京都大学」モバイル版



ご清聴ありがとうございました